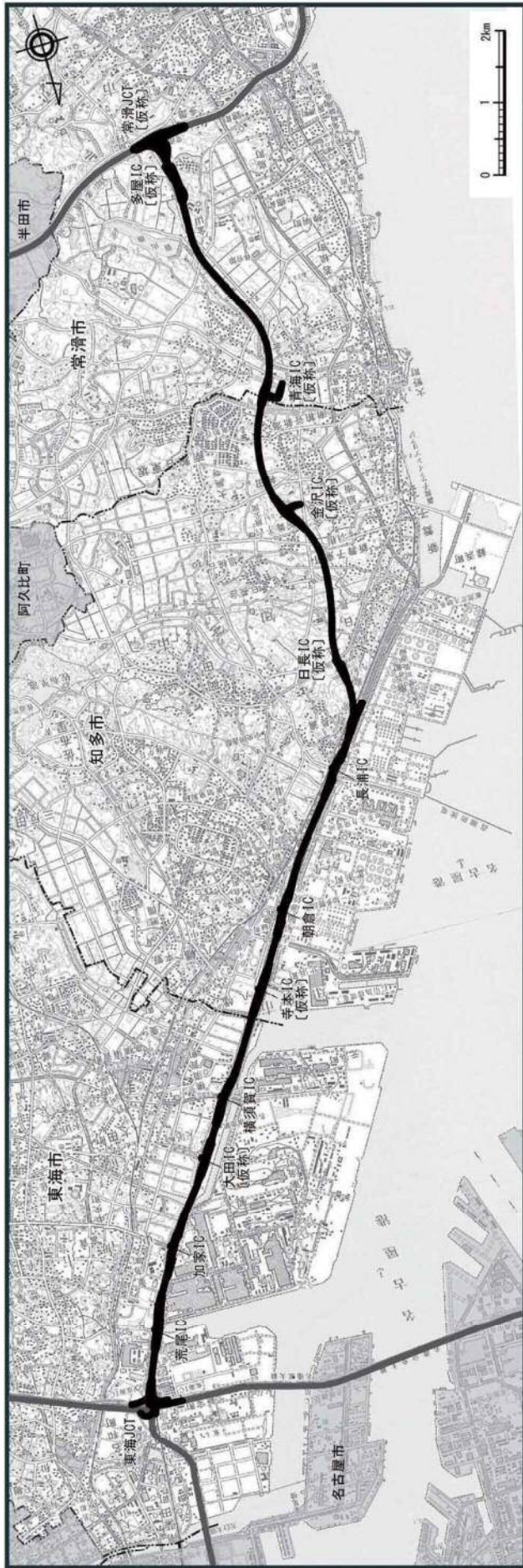


## 第4章 都市計画対象道路事業が実施されるべき区域及びその周囲の概況

本事業の都市計画対象道路が通過する市は、東海市、知多市及び常滑市（以下「対象地域」という。）であり、このうち地域特性（事業実施区域及びその周囲の概要）の把握については、図4-1-1に示す範囲（以下「対象区域」という。）を基本とする。



注) 〇で示す名古屋IC、阿久比町及び半田市は対象区域外である。

凡例



	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界

図4-1-1 対象区域

## 第1節 自然的状況

## 1.1 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況

## 1) 気象の状況

愛知県の気候は、太平洋岸気候区に入り、暖候期の高温・多雨、寒候期の少雨・乾燥で特徴づけられる。対象区域のある知多半島北部地域は、伊勢湾奥に位置し黒潮による直接的な影響をほとんど受けないが、比較的温かな気候となっている。

対象区域にある東海地域気象観測所及び常滑市多屋大気測定所の位置は図4-1-3に示すとおりである。このうち東海地域気象観測所の気象の概況は、表4-1-1及び表4-1-2に示すとおりである。これによると、過去5年間の平均気温は16.6℃、平均総降水量は1,590.4mmとなっており、平成23年の月別の気象の状況では5～7月と9～10月にかけて降水量が比較的多い傾向にある。

また、平成23年における風向及び風速の状況は、図4-1-2に示すとおりであり、両所とも年間の最多風向は北西で、冬季から春季にかけてその傾向が顕著となる。夏季には南東から東南東の出現頻度が高くなる傾向を示している。

表4-1-1 東海地域気象観測所における気象状況の経年変化

年	項目	平均気温 (℃)	総降水量 (mm)	日照時間 (時間)	平均風速 (m/s)	最多風向
	平成19年	16.7	1,330.0	1,936.5	1.4	NW
	平成20年	16.5	1,759.0	2,033.8	1.4	NW
	平成21年	16.7	1,676.0	2,049.3	1.5	NW
	平成22年	16.9	1,657.5	1,988.3	1.5	NW
	平成23年	16.4	1,529.5	2,084.8	1.5	NW
	平均	16.6	1,590.4	2,018.5	1.5	NW

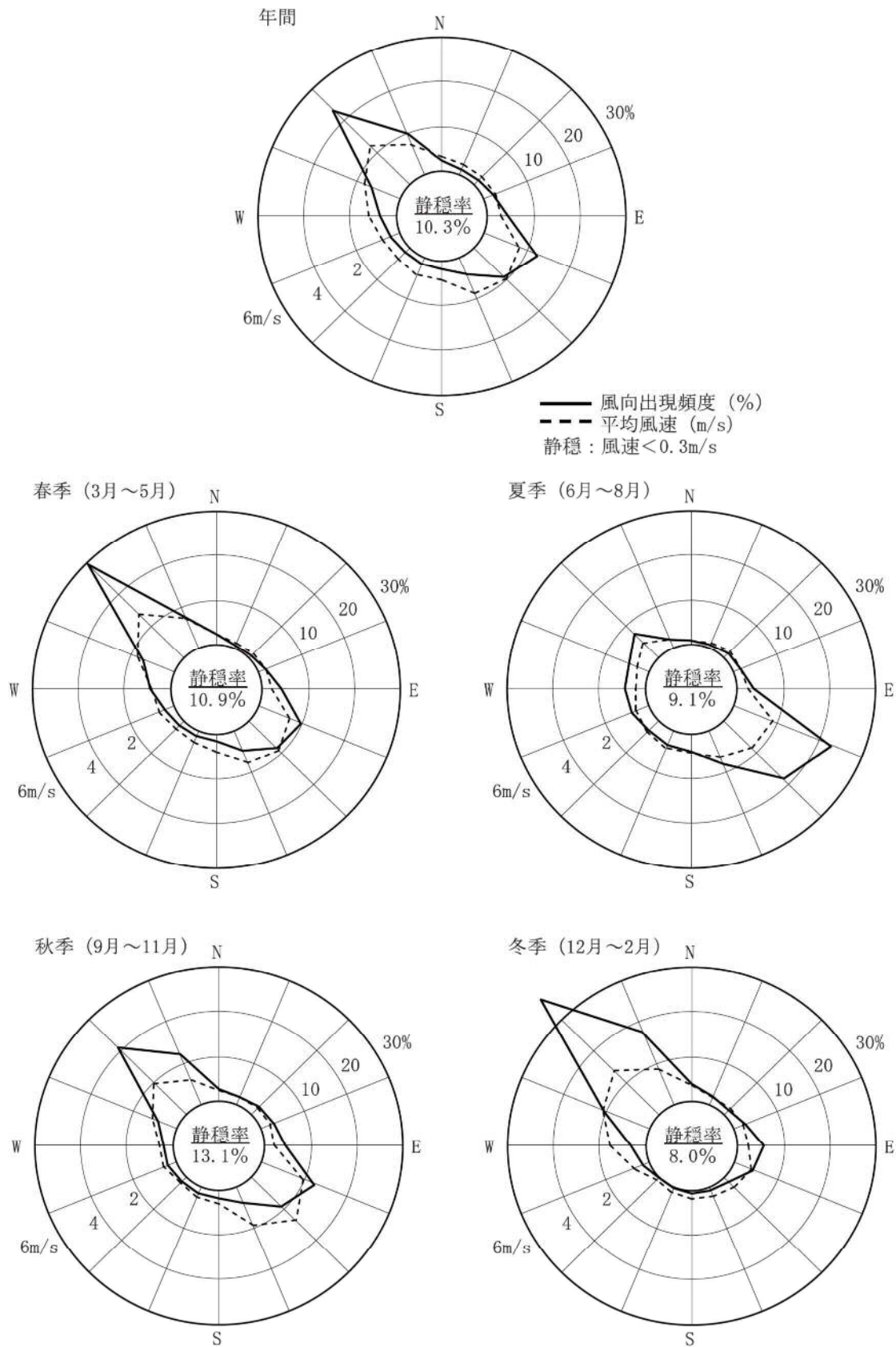
出典：「気象統計情報」（気象庁ウェブサイト）

表4-1-2 東海地域気象観測所における月別の気象の状況（平成23年）

月	項目	平均気温 (℃)	総降水量 (mm)	日照時間 (時間)	平均風速 (m/s)	最多風向
1月		3.6	7.0	194.4	2.0	NW
2月		6.7	124.5	167.2	1.6	NW
3月		7.8	48.5	230.1	2.2	NW
4月		13.5	88.5	205.4	1.6	SE
5月		19.0	307.5	156.9	1.2	SE
6月		23.8	192.5	125.7	1.0	SSE
7月		27.7	201.0	171.1	1.5	ESE
8月		28.5	85.5	167.6	1.1	SSE
9月		25.3	250.0	177.3	1.7	ESE
10月		19.1	134.0	182.9	1.1	NW
11月		14.3	69.5	144.2	1.2	NW
12月		7.4	21.0	162.0	1.7	NW

出典：「気象統計情報」（気象庁ウェブサイト）

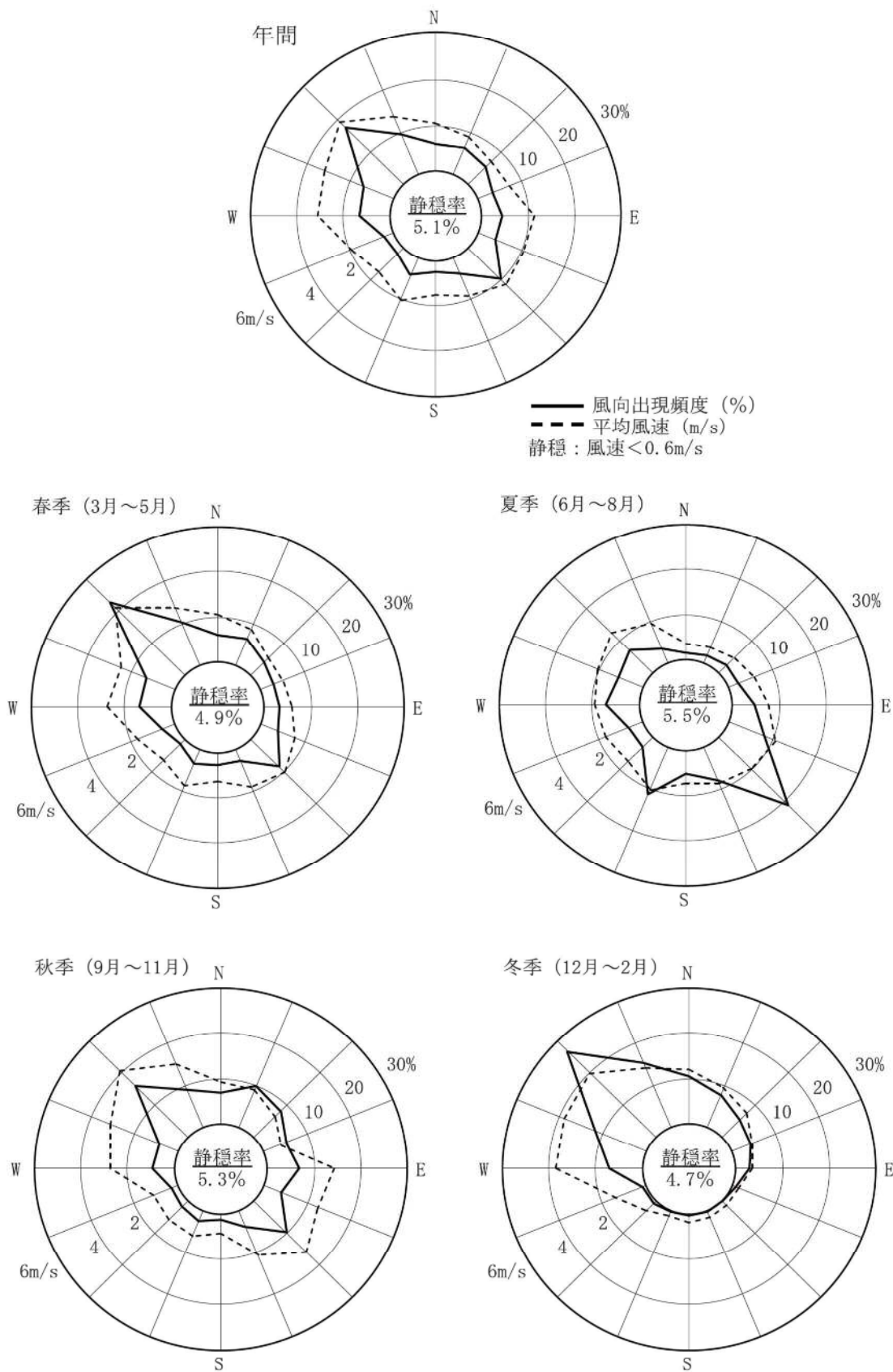
東海地域気象観測所（平成23年）



備考) 観測高さは、地上 6.5m である。  
出典：「気象統計情報」（気象庁ウェブサイト）

図4-1-2(1) 東海地域気象観測所における風配図（平成23年）

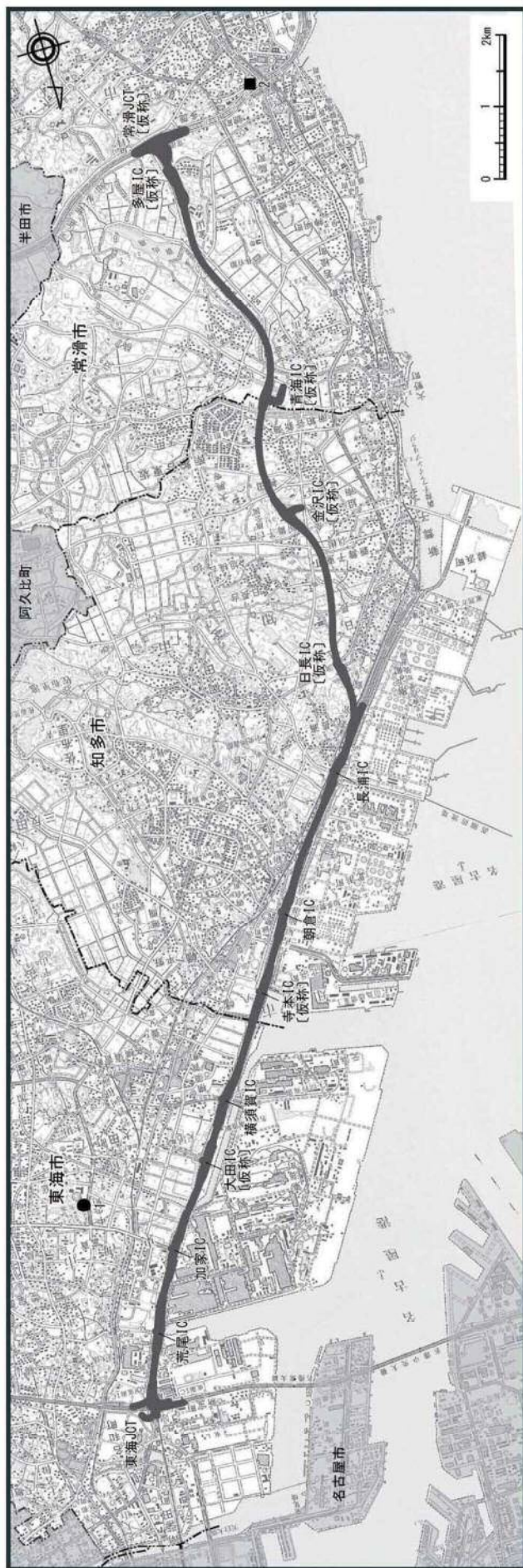
常滑市多屋大気測定所（平成23年）



備考) 観測高さは、地上10mである。

出典：常滑市生活環境課資料

図4-1-2(2) 常滑市多屋大気測定所における風配図（平成23年）



凡例		
記号	番号	名称
●	1	東海地域気象観測所
■	2	常滑市多摩大気測定所 (モニタリングポスト)

出典：「気象統計情報」(気象庁ウェブサイト)  
 「平成24年度版 常滑市の環境概況」(常滑市)

凡例	
—	都市計画対象道路事業実施区域
- - - - -	行政界

図4-1-3 東海気象観測所及び常滑市多摩大気測定所の位置

## 2) 大気質の状況

対象区域においては、図4-1-4に示すとおり、一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）が12箇所、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）が2箇所、ダイオキシン類のみの測定地点が1箇所存在する。これら測定局等の測定項目は、表4-1-3に示すとおりである。

表4-1-3 一般局、自排局及び測定地点における測定項目（平成23年度）

番号	測定局等	所在地	測定項目							管理主体	種別	
			窒素酸化物	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	二酸化硫黄	光化学オキシダント	微小粒子状物質	有害汚染物質			ダイオキシン類
1	東海市名和町	東海市名和町南之山 10-4	○	○		○	○	○	○		愛知県	一般局
2	東海市横須賀小学校	東海市高横須賀町大塚 36	○	○	○	○					愛知県	一般局
3	東海市名和小学校	東海市名和町山東 10	○	○	○				○		東海市	一般局
4	東海市加木屋小学校	東海市加木屋町編笠 9	-	-	-	-					東海市	一般局
5	東海市役所	東海市中央町 1 丁目 1 番地	○	○	○	○			○		東海市	一般局
6	知多市新舞子保育園	知多市大草字北ノ田 81	○	○		○			○		愛知県	一般局
7	知多市役所	知多市緑町 1	○	○	○	○					知多市	一般局
8	知多市岡田	知多市岡田字東無常堂 2-3	○	○	○	○					知多市	一般局
9	知多市旭東児童遊園地	知多市大興寺字里 297-2	○	○	○				○		知多市	一般局
10	常滑市保健センター	常滑市新開町 5-62	○	○		○					愛知県	一般局
11	常滑市常滑東小学校	常滑市瀬木町 4-100	○	○	○						常滑市	一般局
12	常滑市鬼崎北小学校	常滑市住吉町 2-56		○	○						常滑市	一般局
13	東海市名和町吹付	東海市名和町吹付 18 番地	○	○							東海市	自排局
14	常滑市多屋大気測定所	常滑市森西町 4-100	○	○							常滑市	自排局
15	東海市立文化センター	東海市横須賀町狐塚 11							○		東海市	ダイオキシン類測定地点

備考) 東海市加木屋小学校は、改築工事のため平成 23 年度は欠測となっている。

出典：「愛知県大気汚染常時監視結果」（愛知県ウェブサイト）

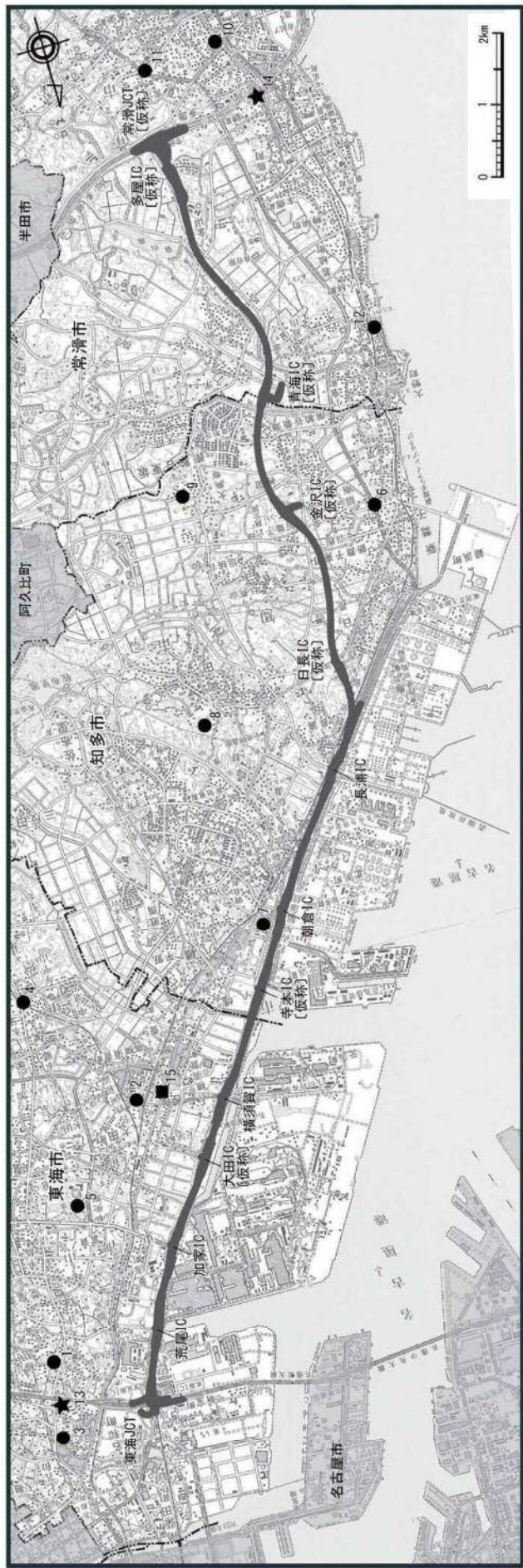
「平成 23 年度大気汚染調査結果」（愛知県）

「平成 23 年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）

「平成 24 年版 東海市の環境概況」（東海市）

「知多市の環境 平成 24 年版」（知多市）

「平成 24 年度版 常滑市の環境概況」（常滑市）



凡例

	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界

記号	番号	名称	
●	1	東海市名和町(上野公民館)	
	2	榎須賀小学校	
	3	東海市名和小学校	
	4	東海市加木屋小学校	
	5	東海市役所	
	6	知多市新舞子保育園(新舞子)	
	7	知多市役所(緑町)	
	8	知多市岡田	
	9	知多市旭東児童遊園地(大興寺)	
	10	常滑市保健センター	
	11	常滑市常滑東小学校	
	12	常滑市鬼崎北小学校	
	13	東海市名和町吹付	
	★	14	常滑市多屋大気測定所(モニタリングポスト)
	■	15	東海市立文化センター

出典：「愛知県大気汚染常時監視結果」(愛知県ウェブサイト)  
 「平成23年度大気汚染調査結果」(愛知県)  
 「平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」(愛知県)  
 「平成24年版 東海市の環境概況」(東海市)  
 「知多市の環境 平成24年版」(知多市)  
 「平成24年度版 常滑市の環境概況」(常滑市)

図4-1-4 大気測定局等の位置



(1) 窒素酸化物及び二酸化窒素

対象区域における平成23年度の窒素酸化物及び二酸化窒素の測定結果は表4-1-4に、平成19年度以降の1日平均値の年間98%値（二酸化窒素）の経年変化は図4-1-5に示すとおりである。

平成23年度の各測定局の1日平均値の年間98%値（二酸化窒素）は0.030～0.047ppmであり、全ての測定局で環境基準を達成している。また、平成19年度以降の1日平均値の年間98%値（二酸化窒素）の経年変化は、横ばい傾向を示している。

表4-1-4 窒素酸化物及び二酸化窒素の測定結果（平成23年度）

測定局	番号	有効測定日数	測定時間	窒素酸化物		二酸化窒素					環境基準
				年平均値	年平均値	1日平均値が0.06ppmを超えた日数	1日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	1時間値の最高値	1日平均値の年間98%値	環境基準の達成状況	
東海市名和町	1	361	8,629	0.031	0.020	0	13	0.114	0.042	○	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること
東海市横須賀小学校	2	343	8,179	0.027	0.019	0	4	0.061	0.036	○	
東海市名和小学校	3	338	8,159	0.022	0.016	0	2	0.067	0.036	○	
東海市加木屋小学校	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東海市役所	5	353	8,445	0.022	0.015	0	0	0.060	0.031	○	
知多市新舞子保育園	6	364	8,648	0.019	0.014	0	0	0.065	0.031	○	
知多市役所	7	365	8,667	0.026	0.017	0	6	0.073	0.038	○	
知多市岡田	8	339	8,053	0.019	0.013	0	1	0.062	0.031	○	
知多市旭東児童遊園地	9	350	8,340	0.017	0.011	0	0	0.058	0.030	○	
常滑市保健センター	10	319	7,656	0.015	0.012	0	1	0.065	0.031	○	
常滑市常滑東小学校	11	366	8,751	0.016	0.011	0	0	0.062	0.030	○	
東海市名和町吹付	13	362	8,644	0.049	0.026	0	49	0.075	0.047	○	
常滑市多屋大気測定所	14	365	8,775	0.023	0.015	1	5	0.145	0.037	○	

備考1) 環境基準は、「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和53年7月11日環境庁告示第38号）による。

2) 「環境基準の達成状況」は以下による。

・「達成」とは、「二酸化窒素に係る環境基準の改定について」（昭和53年7月17日環企大262号）による評価（年間における1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値が0.06ppm以下であることをいう）を達成していることをいう。

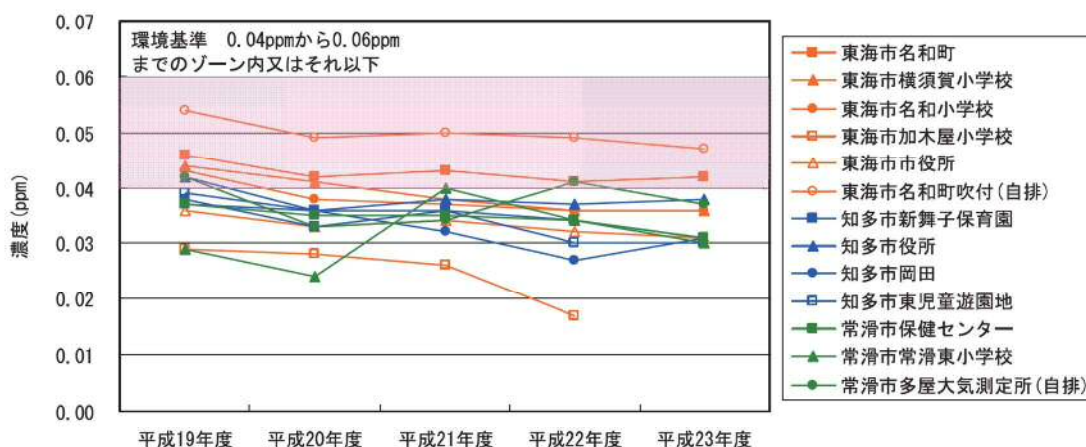
3) 東海市加木屋小学校は、改築工事のため平成23年度は欠測となっている。

出典：「愛知県大気汚染常時監視結果」（愛知県ウェブサイト）

「平成24年版 東海市の環境概況」（東海市）

「知多市の環境 平成24年版」（知多市）

「平成24年度版 常滑市の環境概況」（常滑市）



出典：表4-1-4に同じ出典の他、「環境数値データベース」（独立行政法人国立環境研究所）

図4-1-5 二酸化窒素の経年変化（1日平均値の年間98%値）

(2) 浮遊粒子状物質

対象区域における平成23年度の浮遊粒子状物質の測定結果は表4-1-5に、平成19年度以降の1日平均値の2%除外値の経年変化は図4-1-6に示すとおりである。

平成23年度の各測定局の1日平均値の2%除外値は0.050~0.067mg/m<sup>3</sup>であるものの、黄砂の影響により環境基準を達成していない測定局がある。また、1日平均値の2%除外値の経年変化は、平成20年度以降横ばい傾向を示している。

表4-1-5 浮遊粒子状物質の測定結果（平成23年度）

測定局	番号	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数	1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数	1時間値の最高値	1日平均値の2%除外値	1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の達成状況(長期的評価)	環境基準
		日	時間	mg/m <sup>3</sup>	時間	日	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>	達成○ 非達成×		
東海市名和町	1	362	8,681	0.026	0	0	0.149	0.061	無	○	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
東海市横須賀小学校	2	360	8,668	0.027	1	0	0.270	0.054	無	○	
東海市名和小学校	3	329	7,908	0.034	4	2	0.215	0.064	有	×	
東海市加木屋小学校	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東海市役所	5	353	8,486	0.025	1	2	0.204	0.052	有	×	
知多市新舞子保育園	6	347	8,345	0.021	0	1	0.183	0.050	無	○	
知多市役所	7	364	8,648	0.022	0	2	0.184	0.055	有	×	
知多市岡田	8	335	7,998	0.024	3	2	0.216	0.060	有	×	
知多市旭東児童遊園地	9	345	8,233	0.023	0	2	0.200	0.062	有	×	
常滑市保健センター	10	362	8,684	0.023	5	2	0.233	0.058	有	×	
常滑市常滑東小学校	11	346	8,336	0.022	0	1	0.174	0.059	無	○	
常滑市鬼崎北小学校	12	265	6,684	0.026	0	0	0.186	0.067	無	○	
東海市名和町吹付	13	362	8,702	0.023	0	0	0.154	0.051	無	○	
常滑市多屋大気測定所	14	342	8,223	0.022	1	1	0.222	0.063	無	○	

備考1) 環境基準は、「大気汚染に係る環境基準について」(昭和48年5月8日環境庁告示第25号)による。

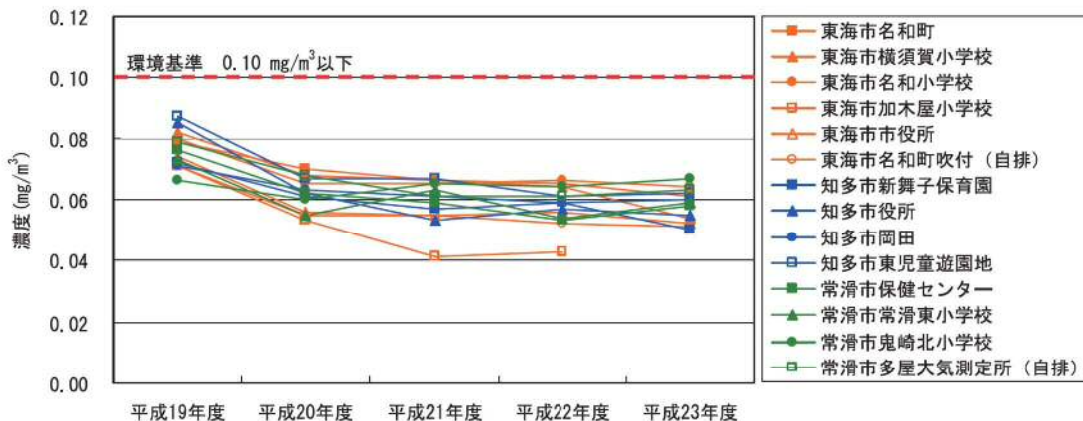
2) 「環境基準の達成状況」は以下による。

- ・達成とは、「大気汚染に係る環境基準について」(昭和48年6月12日環大企143号)による長期的評価(年間にわたる1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であること。ただし、1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続しないこと。)を達成していることをいう。

3) 東海市加木屋小学校は、改築工事のため平成23年度は欠測となっている。

出典: 「愛知県大気汚染常時監視結果」(愛知県ウェブサイト)

- 「平成24年版 東海市の環境概況」(東海市)
- 「知多市の環境 平成24年版」(知多市)
- 「平成24年度版 常滑市の環境概況」(常滑市)



出典: 表4-1-5に同じ出典の他、「環境数値データベース」(独立行政法人国立環境研究所)

図4-1-6 浮遊粒子状物質の経年変化(1日平均値の2%除外値)

(3) 二酸化硫黄

対象区域における平成23年度の二酸化硫黄の測定結果は表4-1-6に、平成19年度以降の1日平均値の2%除外値の経年変化は図4-1-7に示すとおりである。

平成23年度の各測定局の1日平均値の2%除外値は0.003～0.013ppmであり、全ての測定局で環境基準を達成している。また、平成19年度以降の1日平均値の2%除外値の経年変化は、横ばい傾向を示している。

表4-1-6 二酸化硫黄の測定結果（平成23年度）

測定局	番号	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数	1日平均値が0.04ppmを超えた日数	1時間値の最高値	1日平均値の2%除外値	1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の達成状況(長期的評価)	環境基準
		日	時間	ppm	時間	日	ppm	ppm	達成 ○ 非達成 ×		
東海市横須賀小学校	2	363	8,654	0.002	0	0	0.027	0.006	無	○	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
東海市名和小学校	3	354	8,533	0.001	0	0	0.022	0.003	無	○	
東海市加木屋小学校	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東海市役所	5	352	8,434	0.005	0	0	0.055	0.013	無	○	
知多市役所	7	364	8,657	0.007	0	0	0.032	0.012	無	○	
知多市岡田	8	336	8,021	0.006	0	0	0.031	0.011	無	○	
知多市旭東児童遊園地	9	346	8,254	0.006	0	0	0.032	0.011	無	○	
常滑市常滑東小学校	11	362	8,637	0.002	0	0	0.039	0.004	無	○	
常滑市鬼崎北小学校	12	357	8,540	0.002	0	0	0.051	0.005	無	○	

備考1) 環境基準は、「大気の汚染に係る環境基準について」(昭和48年5月8日環境庁告示第25号)による。

2) 「環境基準の達成状況」は以下による。

・達成とは、「大気汚染に係る環境基準について」(昭和48年6月12日環企大143号)による長期的評価(年間にわたる1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.04ppm以下であること。ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。)を達成していることをいう。

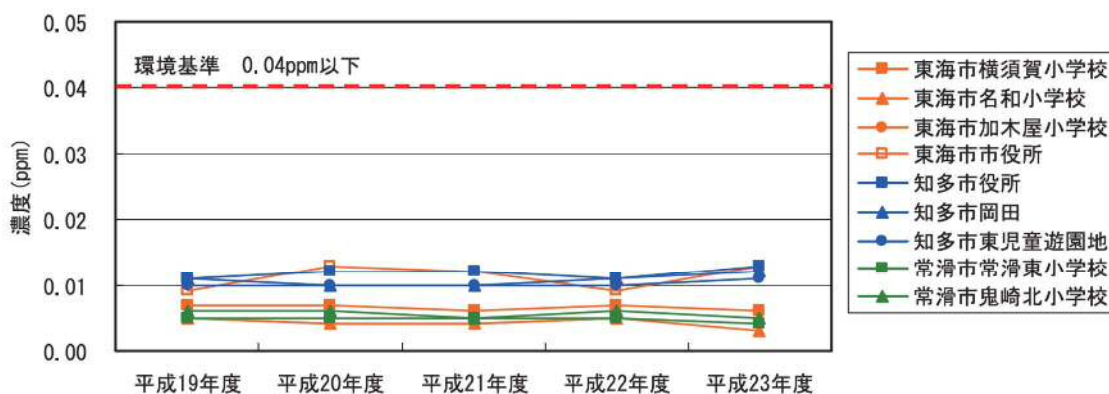
3) 東海市加木屋小学校は、改築工事のため平成23年度は欠測となっている。

出典: 「愛知県大気汚染常時監視結果」(愛知県ウェブサイト)

「平成24年版 東海市の環境概況」(東海市)

「知多市の環境 平成24年版」(知多市)

「平成24年度版 常滑市の環境概況」(常滑市)



出典: 表4-1-6に同じ出典の他、「環境数値データベース」(独立行政法人国立環境研究所)

図4-1-7 二酸化硫黄の経年変化 (1日平均値の2%除外値)

(4) 光化学オキシダント

対象区域における平成23年度の光化学オキシダントの測定結果は表4-1-7に、平成19年度以降の昼間（5時～20時）の1時間値の最高値の経年変化は図4-1-8に示すとおりである。

平成23年度の各測定局の昼間の1時間値の最高値は0.068～0.134ppmであり、全ての測定局で環境基準を達成していない。また、平成19年度以降の昼間の1時間値の最高値の経年変化は、横ばい傾向を示している。

表4-1-7 光化学オキシダントの測定結果（平成23年度）

測定局	番号	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間の1時間値の最高値	環境基準の達成状況	環境基準
		日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	達成 ○ 非達成 ×	
東海市名和町	1	366	5,427	0.025	45	161	0	0	0.085	×	1時間値が0.06ppm以下であること。
東海市横須賀小学校	2	366	5,353	0.024	66	229	0	0	0.109	×	
東海市加木屋小学校	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東海市役所	5	358	5,291	0.027	74	313	0	0	0.106	×	
知多市新舞子保育園	6	358	5,298	0.031	86	383	3	6	0.134	×	
知多市役所	7	362	5,259	0.021	17	56	0	0	0.078	×	
知多市岡田	8	341	4,953	0.022	4	18	0	0	0.068	×	
常滑市保健センター	10	366	5,443	0.031	73	303	1	1	0.121	×	

備考 1) 環境基準は、「大気汚染に係る環境基準について」（昭和48年5月8日環境庁告示第25号）による。

2) 「環境基準の達成状況」は以下による。

・達成とは、「大気汚染に係る環境基準について」（昭和48年6月12日環大企143号）による評価（年間を通じて、1時間値が0.06ppm以下であること。ただし、5時から20時の昼間時間帯について評価する。）を達成していることをいう。

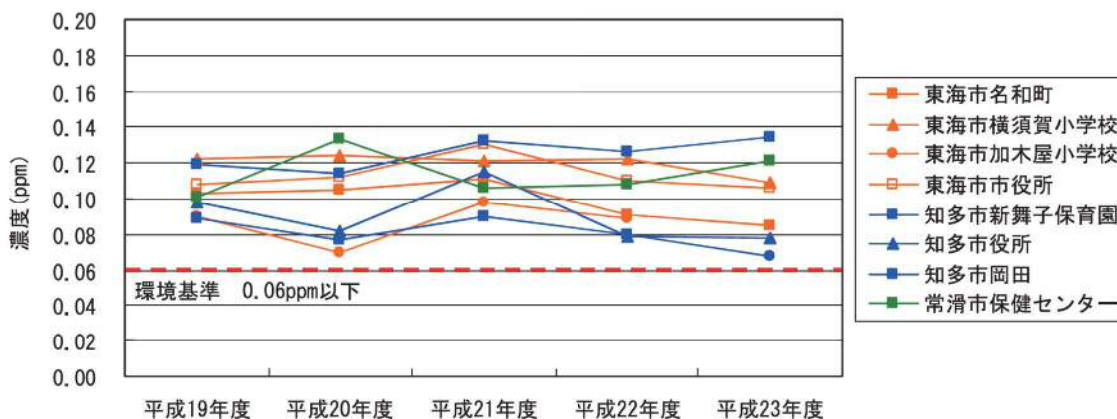
3) 東海市加木屋小学校は、改築工事のため平成23年度は欠測となっている。

出典：「愛知県大気汚染常時監視結果」（愛知県ウェブサイト）

「平成24年版 東海市の環境概況」（東海市）

「知多市の環境 平成24年版」（知多市）

「平成24年度版 常滑市の環境概況」（常滑市）



出典：表4-1-7と同じ出典の他、「環境数値データベース」（独立行政法人国立環境研究所）

図4-1-8 光化学オキシダントの経年変化（昼間の1時間値の最高値）

## (5) 微小粒子状物質

対象区域における平成23年度の微小粒子状物質の測定結果は、表4-1-8に示すとおりである。

平成23年度の年平均値は $20.2 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、1日平均値の年間98パーセンタイル値は $48.9 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、環境基準を達成していない。

表4-1-8 微小粒子状物質の測定結果（平成23年度）

測定局	番号	有効測定日数	測定時間	年平均値	1日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数	1日平均値の年間98パーセンタイル値	環境基準の達成状況	環境基準
		日	時間	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	達成：○ 非達成：×	
東海市名和町	1	355	8,522	20.2 (19.9)	32 (29)	48.9 (47.4)	×	1年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ1日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

備考1) 環境基準は、「微小粒子状物質による大気汚染に係る環境基準について」（平成21年9月9日環境省告示第33号）による。

2) 「環境基準の達成状況」は以下による。

・達成とは、「微小粒子状物質による大気汚染に係る環境基準について（通知）」（平成21年9月9日環水大総発第090909001号）による評価（年間の1日平均値の年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、年間の1日平均値の低い方から98%に相当する値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。）を達成していることをいう。

3) ( ) 内は、黄砂の影響を除いた場合の値を示す。

出典：「愛知県大気汚染常時監視結果」（愛知県ウェブサイト）

「平成23年度大気汚染調査結果」（愛知県）

(6) 有害汚染物質（ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン）

対象区域における平成23年度の有害汚染物質の測定結果は表4-1-9に、平成19年度以降の年平均値の経年変化は図4-1-9に示すとおりである。

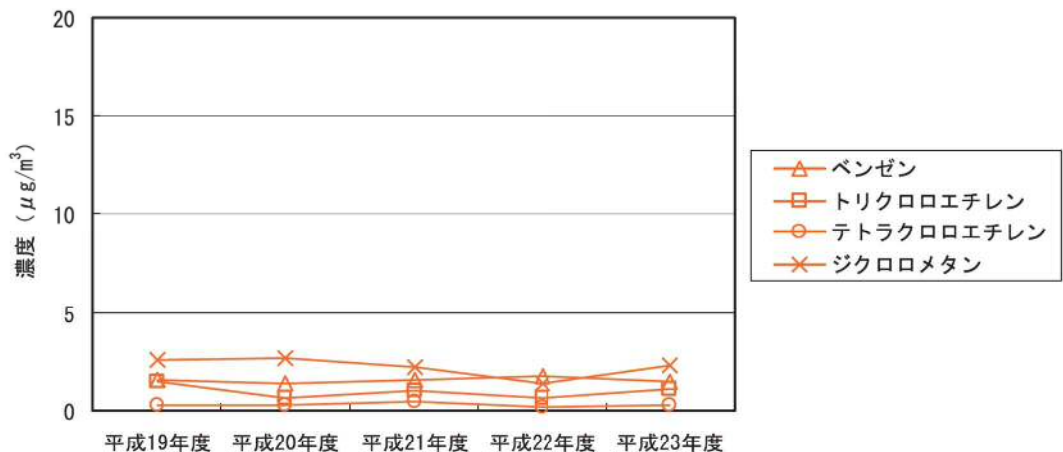
平成23年度の年平均値はベンゼンが $1.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、トリクロロエチレンが $1.1 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、テトラクロロエチレンが $0.32 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、ジクロロメタンが $2.3 \mu\text{g}/\text{m}^3$ となっており、いずれの物質も環境基準を達成している。また、平成19年度以降の年平均値の経年変化は、横ばい傾向を示している。

表4-1-9 有害汚染物質の測定結果（平成23年度）

測定局	番号	測定項目	検体数	年平均値	最小値	最大値	環境基準の達成状況 達成：○ 非達成：×	環境基準
				$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$		
東海市名和町	1	ベンゼン	12	1.5	0.75	3.3	○	年平均値が $3 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
		トリクロロエチレン	12	1.1	0.18	3.4	○	年平均値が $200 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
		テトラクロロエチレン	12	0.32	0.054	1.8	○	年平均値が $200 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
		ジクロロメタン	12	2.3	0.68	7.2	○	年平均値が $150 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

備考 1) 環境基準は、「ベンゼン等による大気汚染に係る環境基準について」（平成9年2月4日環境庁告示第4号）による。  
 2) 「環境基準の達成状況」は以下による。  
 ・達成とは、「ベンゼン、トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンによる大気汚染に係る環境基準について」（平成9年2月12日環大企37号）及び「ジクロロメタンによる大気汚染に係る環境基準について」（平成13年6月12日環管総182号）による評価（同一地点における年平均値と認められる値との比較によって評価を行う。）を達成していることをいう。

出典：「平成23年度大気汚染調査結果」（愛知県）



出典：「平成19年度～平成23年度大気汚染調査結果」（愛知県）

図4-1-9 有害汚染物質の経年変化（年平均値）

(7) ダイオキシン類（大気環境）

対象区域における平成23年度のダイオキシン類（大気環境）の測定結果は表4-1-10に、平成19年度以降の年平均値の経年変化は図4-1-10に示すとおりである。

平成23年度の各測定局の年平均値は0.030～0.120pg-TEQ/m<sup>3</sup>であり、全ての測定局で環境基準を達成している。また、平成19年度以降の年平均値の経年変化は、横ばい傾向を示している。

表4-1-10 ダイオキシン類（大気環境）の測定結果（平成23年度）

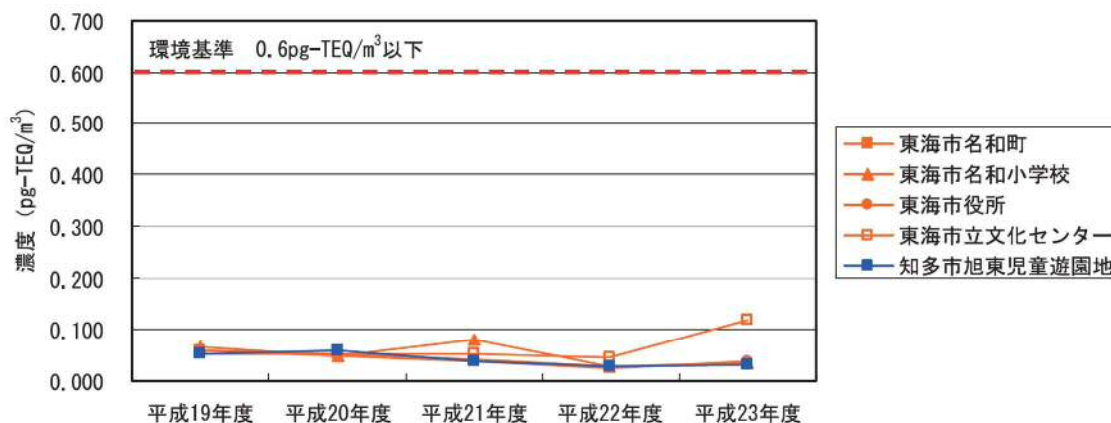
測定局	番号	測定結果 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )				環境基準の達成状況	環境基準	
		春	夏	秋	冬			
		H23. 5. 19 ～ H23. 5. 26	H23. 7. 26 ～ H23. 8. 2	H23. 10. 25 ～ H23. 11. 1	H24. 1. 17 ～ H24. 1. 24			
東海市名和町	1	0.025	0.020	0.020	0.056	0.030	○	年間平均値が 0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下 であること。
東海市名和小学校	3	0.025	0.028	0.038	0.046	0.034	○	
東海市役所	5	0.022	0.025	0.034	0.069	0.038	○	
知多市旭東児童遊園地	9	0.019	0.013	0.025	0.076	0.033	○	
東海市立文化センター	15	0.029	0.021	0.037	0.380	0.120	○	

備考 1) 環境基準は、「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁及び土壌の汚染に係る環境基準について」（平成11年12月27日環境庁告示第68号）による。

2) 「環境基準の達成状況」は以下による。

- ・達成とは、「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁及び土壌の汚染に係る環境基準について」（平成11年12月27日環境庁告示第68号）による評価（同一地点における1年間のすべての検体の測定値の算術平均値により評価する。）を達成していることをいう。

出典：「平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）



出典：「平成19年度～平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）

図4-1-10 ダイオキシン類（大気環境）の経年変化（年平均値）

(8) 非メタン炭化水素

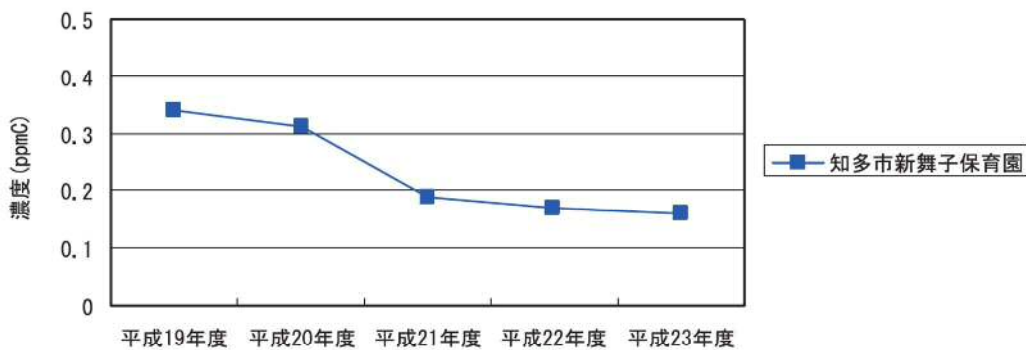
対象区域における平成23年度の非メタン炭化水素の測定結果は表4-1-11に、平成19年度以降の午前6時～9時における年平均値の経年変化は図4-1-11に示すとおりである。

平成23年度の午前6時～9時における年平均値は0.16ppmCとなっている。また、平成19年度以降の午前6時～9時における年平均値の経年変化は、やや減少傾向を示している。

表4-1-11 非メタン炭化水素の測定結果（平成23年度）

測定局	番号	測定時間 時間	年平均値 ppmC	6～9時 における 年平均値 ppmC	6～9時 測定 日数 日	6～9時 3時間 平均値		6～9時 3時間 平均値が 0.20ppmC を超えた 日数 日	6～9時 3時間 平均値が 0.31ppmC を超えた 日数 日
						最高値 (ppmC)	最低値 (ppmC)		
知多市新舞子保育園	6	8,368	0.12	0.16	361	0.86	0	104	37

出典：「愛知県大気汚染常時監視結果」（愛知県ウェブサイト）



出典：「愛知県大気汚染常時監視結果」（愛知県ウェブサイト）

図4-1-11 非メタン炭化水素の経年変化（午前6時～9時における年平均値）



### 3) 降下ばいじんの状況

対象区域においては、図4-1-13に示すとおり、降下ばいじんの測定地点が13地点存在する。

対象区域における平成23年度の降下ばいじんの測定結果は表4-1-12に、平成19年度以降の年平均値の経年変化は図4-1-12に示すとおりである。

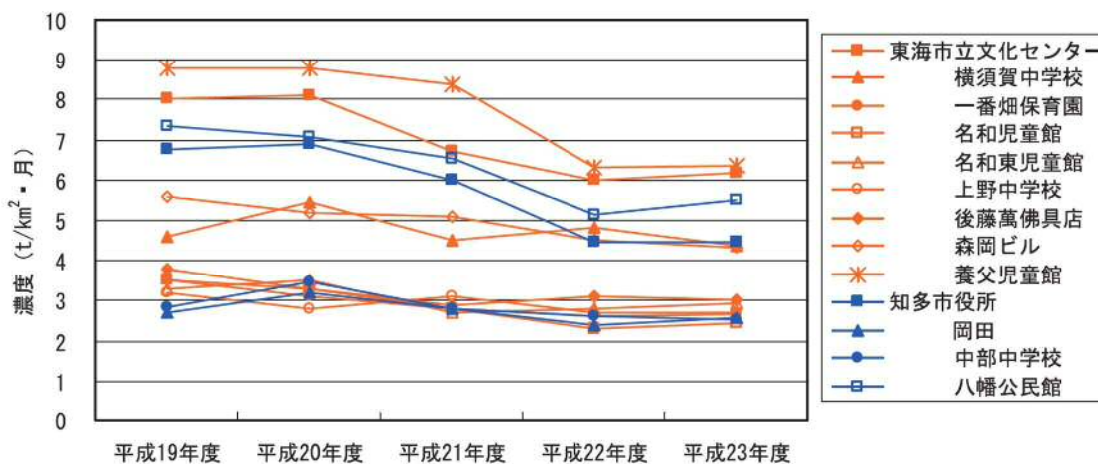
平成23年度の各測定地点の年平均値は2.44～6.37t/km<sup>2</sup>・月となっている。また、平成19年度以降の年平均値の経年変化は、横ばい又はやや減少する傾向を示している。

表4-1-12 降下ばいじんの測定結果（平成23年度）

測定地点	番号	降下ばいじん量 (t/km <sup>2</sup> ・月)				調査主体
		b+c	不溶解性成分(b)		溶解性成分(c)	
			灰分	熱灼減		
東海市立文化センター	1	6.19	2.38	1.25	2.56	東海市
横須賀中学校	2	4.35	1.61	0.80	1.94	愛知県
一番畑保育園	3	2.64	0.97	0.50	1.17	東海市
名和児童館	4	2.44	0.88	0.43	1.13	東海市
名和東児童館	5	2.92	1.03	0.57	1.32	東海市
上野中学校	6	2.69	0.96	0.44	1.29	東海市
後藤萬仏具店	7	3.03	1.10	0.66	1.27	東海市
森岡ビル	8	4.31	1.90	0.66	1.75	東海市
養父児童館	9	6.37	2.39	1.32	2.66	東海市
知多市役所	10	4.44	1.63	0.94	1.87	知多市
岡田	11	2.56	0.67	0.54	1.35	知多市
中部中学校	12	2.54	0.80	0.57	1.17	愛知県
八幡公民館	13	5.50	2.00	1.19	2.31	知多市

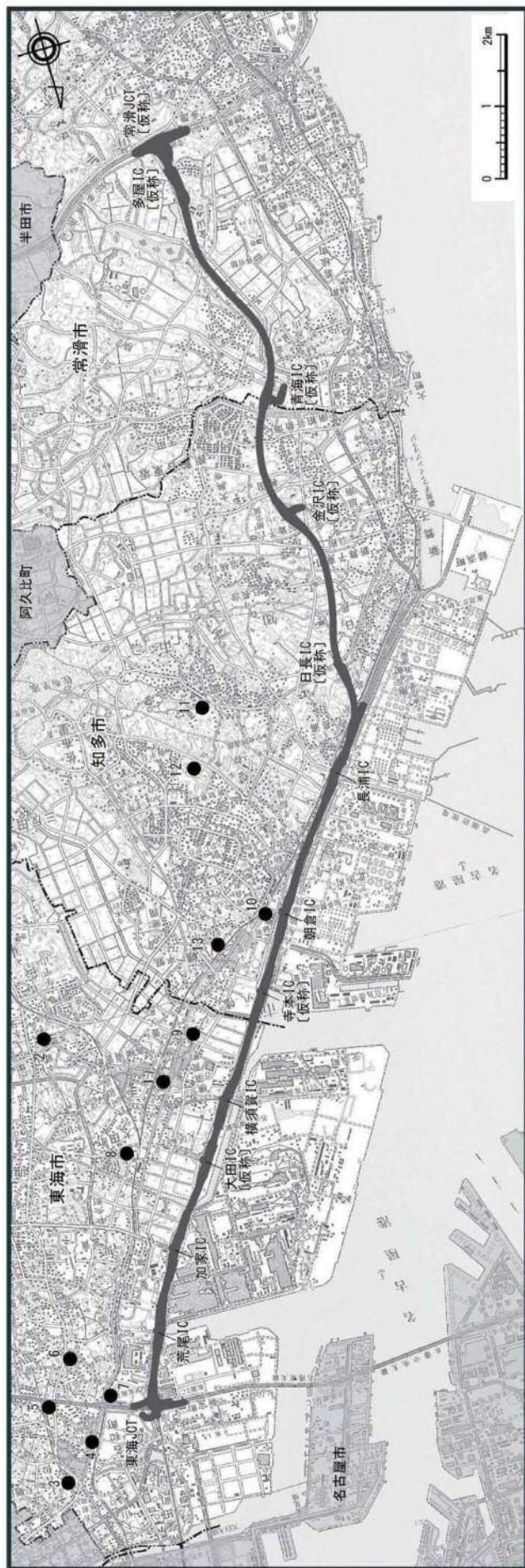
備考) 測定結果は年平均値である。

出典：「降下ばいじん調査結果」（愛知県ウェブサイト）



出典：「降下ばいじん調査結果」（愛知県ウェブサイト）

図4-1-12 降下ばいじんの経年変化（年平均値）



凡例	凡例
●	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界

凡例	凡例
1	東海市立文化センター
2	横須賀中学校
3	一番畑保育園
4	名和児童館
5	名和東児童館
6	上野中学校
7	後藤萬仏具店
8	森岡ビル
9	養父児童館
10	知多市役所（緑町）
11	岡田
12	中部中学校
13	八幡公民館

出典：「降下ばいじん調査結果」（愛知県ウェブサイト）

図4-1-13 降下ばいじん測定地点

## 4) 騒音の状況

## (1) 一般環境騒音

対象区域における一般環境騒音の調査地点の位置は図4-1-14に、各調査地点における平成23年度の測定結果は表4-1-13に示すとおりである。

昼間は全ての調査地点において環境基準を達成しているが、夜間については達成していない地点がある。

表4-1-13 一般環境騒音の測定結果（平成23年度）

市名	調査地点名	番号	用途地域	類型	時間区分	騒音レベル (dB)	環境基準 (dB)	達成状況	調査日
東海市	緑陽敬老の家	1	近隣商業地域	C	昼間	59	60	○	H23. 9. 6
					夜間	53	50	×	
	東海市名和町	2	第1種中高層住居専用地域	A	昼間	54	55	○	H23. 9. 8
					夜間	50	45	×	
	東海市役所	3	第1種住居地域	B	昼間	54	55	○	H23. 8. 25
					夜間	50	45	×	
	東海市立文化センター	4	商業地域	C	昼間	53	60	○	H23. 9. 1
					夜間	45	50	○	
	市民病院	5	第1種中高層住居専用地域	A	昼間	50	55	○	H23. 8. 30
					夜間	46	45	×	
知多市	岡田	6	第1種中高層住居専用地域	A	昼間	49	55	○	H23. 11. 7 ～11. 8
					夜間	42	45	○	
常滑市	矢田集落センター	7	市街化調整区域	B	昼間	44	55	○	H23. 10. 25
					夜間	37	45	○	
	鬼崎公民館	8	第1種住居地域	B	昼間	47	55	○	H23. 10. 26
					夜間	37	45	○	
	廻船問屋瀧田家	9	第1種住居地域	B	昼間	45	55	○	H23. 10. 27
					夜間	38	45	○	

備考1) 「類型」は環境基本法に基づく騒音に係る環境基準の地域の類型を示す。

2) 「達成状況」は環境基準の達成状況であり、○は達成を、×は非達成を示す。

出典：「平成24年版 東海市の環境概況」（東海市）

「知多市の環境 平成24年版」（知多市）

「平成24年度版 常滑市の環境概況」（常滑市）

(2) 道路交通騒音

対象区域における道路交通騒音の調査地点の位置は図4-1-14に、各調査地点における測定結果は表4-1-14に、道路交通騒音の面的評価結果は表4-1-15に示すとおりである。

各調査地点における騒音レベルは、全ての調査地点において要請限度以下となっており、面的評価における環境基準の達成率は77.6～100%となっている。

表4-1-14 道路交通騒音の測定結果（平成23年度）

市名	番号	道路名	調査地点	時間区分	騒音レベル (dB)	要請限度 (dB)	適合状況	調査日	調査機関
東海市	10	一般国道 247 号	東海市名和町一番割中	昼間	75	75	○	H23. 11. 7 ～11. 11	東海市
				夜間	70	70	○		
	11	県道名古屋半田線※	東海市名和町蓮池	昼間	70	75	○	H22. 9. 27 ～10. 4	愛知県
				夜間	66	70	○		
	12	一般国道 302 号	東海市名和町戸石	昼間	62	75	○	H23. 9. 9 ～9. 16	愛知県
				夜間	58	70	○		
	13	市道名和養父線	東海市荒尾町大脇	昼間	69	75	○	H23. 10. 3 ～10. 7	東海市
				夜間	64	70	○		
	14	一般国道 155 号	東海市高横須賀町榊形	昼間	67	75	○	H23. 10. 24 ～10. 28	東海市
				夜間	62	70	○		
知多市	15	一般国道 155 号	知多市新舞子東町 2 丁目	昼間	74	75	○	H23. 9. 9 ～9. 16	愛知県
				夜間	68	70	○		
	16	県道西尾知多線	知多市南谷 2 丁目	昼間	71	75	○	H23. 11. 14 ～11. 15	知多市
				夜間	66	70	○		
	17	県道知多東浦線	知多市伊賀坂 1 丁目	昼間	64	75	○	H23. 11. 9 ～11. 10	知多市
				夜間	56	70	○		
常滑市	18	一般国道 155 号	常滑市榎戸字午新田	昼間	64	75	○	H23. 12. 6 ～12. 9	常滑市
				夜間	60	70	○		
	19	一般国道 247 号	常滑市字樋掛	昼間	71	75	○	H23. 9. 9 ～9. 16	愛知県
				夜間	65	70	○		
	20	県道中部国際空港線	常滑市森西町	昼間	62	75	○	H23. 12. 12 ～12. 15	常滑市
				夜間	57	70	○		

備考 1) 表中※印の地点のデータは平成 22 年度のデータである。

2) 「適合状況」は要請限度の適合状況であり、○は適合を、×は非適合を示す。

出典：「知多市の環境 平成 24 年版」（知多市）

「平成 22 年度交通騒音・振動に関する調査結果」（愛知県）

「平成 23 年度交通騒音・振動に関する調査結果」（愛知県）

表4-1-15 道路交通騒音の面的評価結果（平成23年度）

番号	道路名	調査地点	評価区間			時間区分	騒音レベル (dB)	環境基準達成率 (%)	
			起点	終点	延長 (km)				
1	一般国道155号	知多市新舞子東町 2-1-5	常滑市錦町 4丁目	知多市新舞子南西田	7.3	昼間	74	77.6	77.6
						夜間	67	94.6	
2	一般国道247号	常滑市樋掛 39	常滑市長間	常滑市熊野町 1丁目	4.0	昼間	71	100	100
						夜間	65	100	
3	一般国道302号	東海市名和町戸石 48-10	東海市名和町北蔵	東海市名和町浜須賀	2.1	昼間	62	99.7	99.2
						夜間	59	99.2	
4	県道西尾知多線	知多郡阿久比町大字草木字堀田 25-1	知多郡阿久比町福住松本	知多市上り戸 2丁目	3.8	昼間	71	90.6	90.6
						夜間	66	90.6	
5	県道名古屋半田線	東海市名和町蓮池 18-1	東海市名和町三番割上	東海市名和町一本木	2.0	昼間	70	95.5	91.5
						夜間	66	91.5	

備考 1) 調査はいずれも愛知県が行ったものである。

2) 環境基準達成率の2列目は、昼夜ともに環境基準を達成している割合を示す。

出典：「平成23年度交通騒音・振動に関する調査結果」（愛知県）

#### 5) 道路交通振動の状況

対象区域における道路交通振動の調査地点の位置は図4-1-14に、各調査地点における平成23年度の測定結果は表4-1-16に示すとおりである。全ての調査地点において要請限度以下となっている。

表4-1-16 道路交通振動の測定結果（平成23年度）

番号	道路名	調査地点	用途地域	区域区分	時間区分	振動レベル (dB)	要請限度 (dB)	適合状況	調査日	調査機関
12	一般国道302号	東海市名和町戸石	第1種住居地域	第1種	昼間	39	65	○	H23.9.9 ～9.16	愛知県
					夜間	39	60	○		
14	一般国道155号	東海市高横須賀町榊形	準工業地域	第2種	昼間	38	70	○	H23.10.28	東海市
					夜間	35	65	○		
15	一般国道155号	知多市新舞子東町 2丁目	準住居地域	第1種	昼間	42	65	○	H23.9.9 ～9.16	愛知県
					夜間	32	60	○		
19	一般国道247号	常滑市字樋掛	近隣商業地域	第2種	昼間	38	70	○	H23.9.9 ～9.16	愛知県
					夜間	38	65	○		

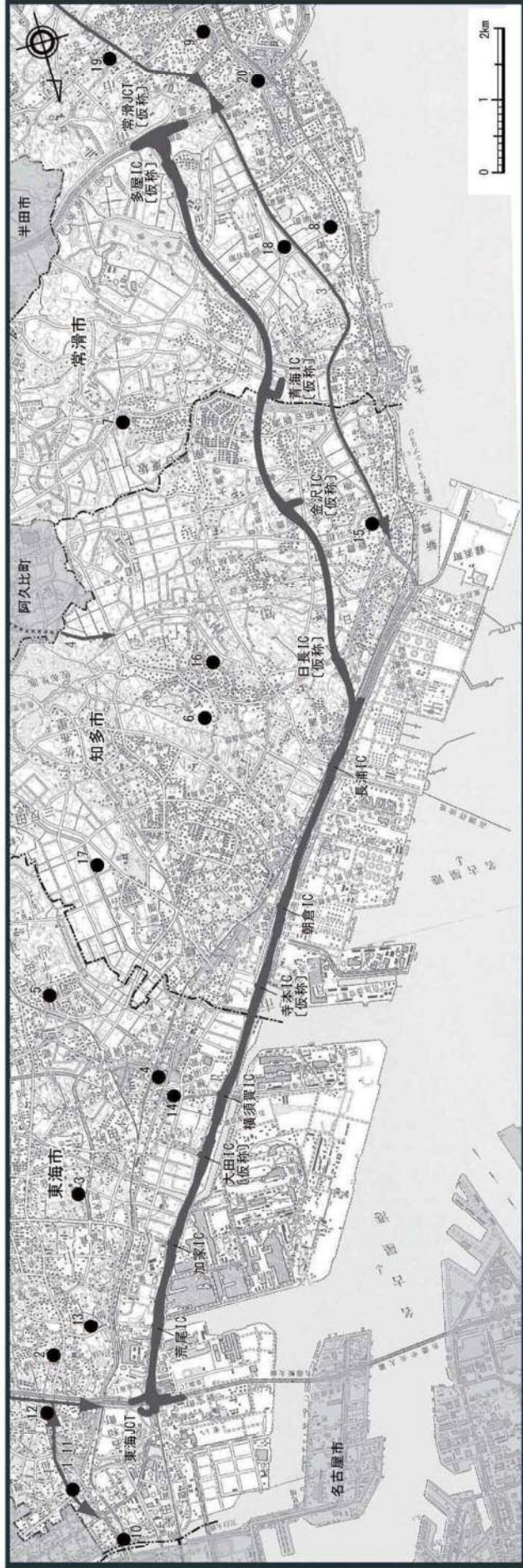
備考 1) 「区域区分」は振動規制法施行規則の区域区分を示す。

2) 「適合状況」は要請限度の適合状況であり、○は適合を、×は非適合を示す。

出典：「平成23年度交通騒音・振動に関する調査結果」（愛知県）

#### 6) その他の大気の状態（低周波音）

対象区域において、低周波音の測定は実施されていない。



凡例

記号	番号	名称	調査内容		記号	番号	名称	調査内容	
			一般道 騒音	道路交通 騒音				一般道 騒音	道路交通 騒音
●	1	緑陽敬老の家	○		●	10	東海市名和町一番割中		
	2	東海市名和町	○			11	東海市名和町蓮池		○
	3	東海市役所	○			12	東海市名和町戸石		○
	4	東海市立文化センター	○			13	東海市荒尾町大脇		○
	5	市民病院	○			14	東海市高機須賀町樹形		○
	6	岡田	○			15	知多市新舞子東町2丁目		○
	7	矢田集落センター	○			16	知多市伊賀坂1丁目		○
	8	鬼崎公民館	○			17	知多市榎戸字午新田		○
	9	龍田家	○			18	常滑市榎戸字午新田		○
				19	常滑市字縫掛		○		
				20	常滑市森西町		○		

凡例

記号	番号	名称	
		道路	名
↔	1	東海市名和町三番割上	東海市名和町一本木
	2	東海市名和町北畷	東海市名和町須賀
	3	常滑市錦町4丁目	知多市新舞子南西田
	4	知多市上り戸2丁目	知多市上り戸2丁目
	5	常滑市長間	常滑市熊野町1丁目

出典：「平成24年版 東海市の環境概況」(東海市)  
 「知多市の環境 平成24年版」(知多市)  
 「平成24年度版 常滑市の環境概況」(常滑市)  
 「平成22年度交通騒音・振動に関する調査結果」(愛知県)  
 「平成23年度交通騒音・振動に関する調査結果」(愛知県)

図4-1-14 騒音、振動の調査地点の位置

## 1.2 水象、水質、水底の底質その他の水に係る環境の状況

## 1) 水象の状況

対象区域における主な河川、ため池の状況は、表4-1-17、表4-1-18及び図4-1-15に示すとおりである。河川は主に五つの水系からなり、一級河川は存在しない。また、ため池は農業用のため池が多く、事業実施区域内にも一部存在する。

表4-1-17 対象区域内の水系の概要

水系	天白川	大田川	信濃川	日長川	矢田川
区分	二級河川	二級河川	二級河川	二級河川	二級河川
水系の位置	日進市米野木町三ヶ峯（標高約170m）に発し、名古屋港を経て伊勢湾に注ぐ。	東海市南部の標高70m程度の丘陵地に発し、東海市大田町の市街地を流れた後、伊勢湾に注ぐ。	知多市中部の標高60m程度の佐布里池に発し、つつじが丘等の市街地を流れ、伊勢湾に注ぐ。	知多市中部の標高50m程度の丘陵地に発し、知多市岡田の市街地を流れ、伊勢湾に注ぐ。	常滑市矢田の北の池に発し、常滑市大野町にて伊勢湾に注ぐ。
河川延長	約21.5km	約4.1km	約5.9km	約3.9km	約6.2km
流域面積	約118.8km <sup>2</sup>	約17.2km <sup>2</sup>	約12.0km <sup>2</sup>	約12.3km <sup>2</sup>	約19.4km <sup>2</sup>
下流部の川幅	約80～200m	約40m	約30m	約20m	-

出典：「二級河川天白川水系 河川整備計画」（平成21年、愛知県）

「二級河川大田川水系 河川整備計画」（平成17年、愛知県）

「二級河川信濃川水系 河川整備計画」（平成17年、愛知県）

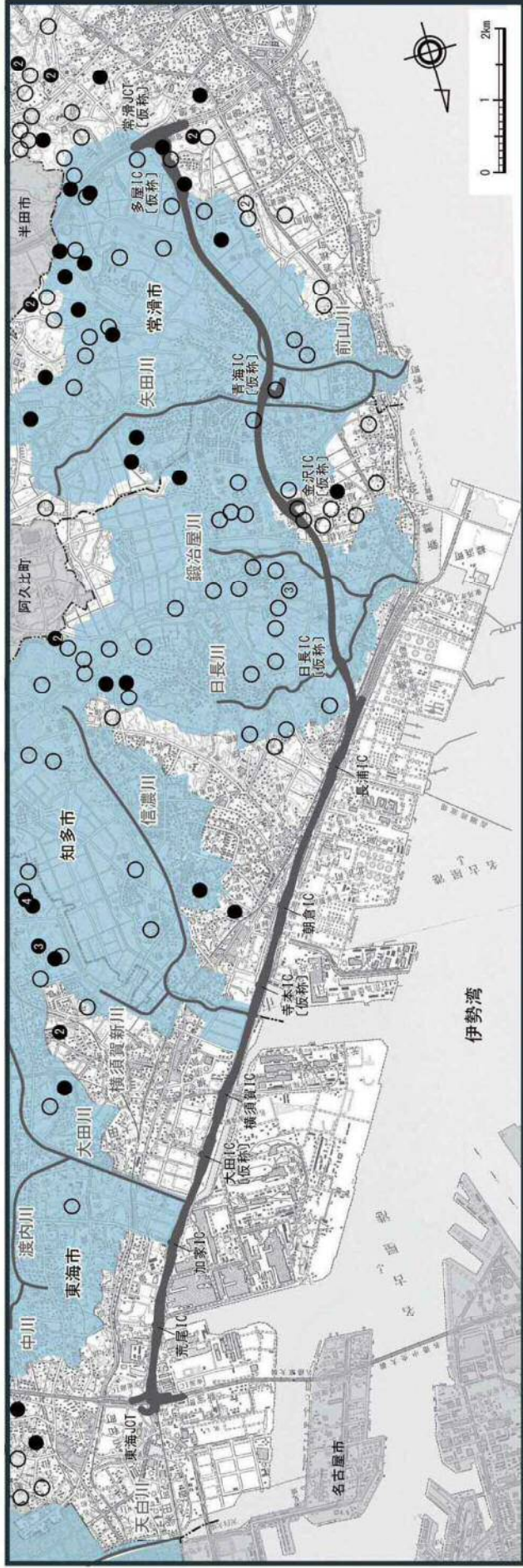
「二級河川日長川水系 河川整備計画」（平成17年、愛知県）

愛知県知多建設事務所資料

表4-1-18 対象区域内のため池の数

項目	東海市	知多市	常滑市
満水面積1ha以上	10	41	36
満水面積1ha未満	14	8	25

出典：「愛知県ため池保全計画」（平成24年、愛知県）



凡例	
	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界

凡例	
記号	名称
	流域
	二級河川
	ため池(満水面積1ha以上)
	ため池(満水面積1ha未満)

備考) ●の中の数字は、その中に含まれるため池の数を示す。数字のないものはその数が1つであることを意味する。

出典：「二級河川(天白川水系 河川整備計画) (平成21年、愛知県)  
 「二級河川(大田川水系 河川整備計画) (平成17年、愛知県)  
 「二級河川(信濃川水系 河川整備計画) (平成17年、愛知県)  
 「二級河川(日長川水系 河川整備計画) (平成17年、愛知県)  
 愛知県知事建設事務所資料  
 「愛知県ため池保全計画」(平成24年、愛知県)

図4-1-15 河川、ため池の状況



## 2) 水質の状況

## (1) 水質の状況

対象区域においては、天白川が公共用水域の水質類型のC類型に指定され、千鳥橋（図4-1-17）において水質調査が実施されている。

千鳥橋における平成23年度の水質調査結果は表4-1-19に、平成19年度以降の生物化学的酸素要求量（BOD）75%値の経年変化は図4-1-16に示すとおりである。

平成23年度の水質調査結果では、生活の保全に関する項目（以下「生活環境項目」という。）、人と健康の保護に関する項目（以下「健康項目」という。）のいずれにおいても未測定項目を除く全ての項目で環境基準を達成している。また、生物化学的酸素要求量（BOD）75%値の経年変化は、平成21年度、平成22年度において環境基準を達成していないが、平成23年度には再び環境基準を達成している。

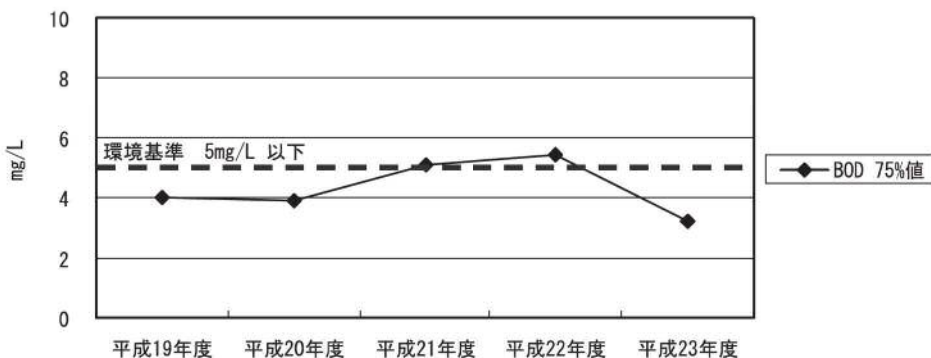
表4-1-19 水質調査結果（天白川：千鳥橋（平成23年度））

	項目	単位	環境基準	平均値	最小値	最大値	75%値	環境基準達成状況
生活関連項目	pH	-	6.5以上8.5以下	7.5	7.2	8.0	7.6	○
	BOD	mg/L	5mg/L以下	3.0	1.0	6.1	3.2	○
	SS	mg/L	50mg/L以下	6	3	15	7	○
	DO	mg/L	5mg/L以上	6.5	3.1	10	5.0	○
	大腸菌群数	MPN/100mL	-	E	E	E	E	-
	全亜鉛	mg/L	0.03mg/L以下	0.025	0.016	0.049	0.027	○
健康項目	カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001		○
	全アンモニア	mg/L	検出されないこと	ND	ND	ND		○
	鉛	mg/L	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005		○
	六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01		○
	砒素	mg/L	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005		○
	総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005		○
	アルキル水銀	mg/L	検出されないこと	ND	ND	ND		○
	PCB	mg/L	検出されないこと	ND	ND	ND		○
	ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002		○
	四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002		○
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004		○
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.02mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01		○
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004		○
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下	<0.1	<0.1	<0.1		○
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006		○
	トリクロロエチレン	mg/L	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002		○
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005		○
	1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002		○
	チウラム	mg/L	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006		○
	シマジン	mg/L	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003		○
	チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002		○
	ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001		○
	セレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002		○
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下	1.8	1.0	2.9		○
	ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	E	E	E		-
	ほう素	mg/L	1mg/L以下	E	E	E		-
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005		○

備考1) 表中の「ND」とは「検出せず」を、「E」とは「測定を行っていない」を意味する。

2) 環境基準の達成状況欄の「○」は達成を意味する。

出典：「公共用水域の水質調査結果」（愛知県ウェブサイト）



出典：「公共用水域の水質調査結果」（愛知県ウェブサイト）

図4-1-16 BOD75%値の経年変化（千鳥橋）

対象区域においては、図4-1-17に示すとおり、他に関係市による水質調査地点（以下「その他水質調査地点」という。）が21地点（11河川）ある。全ての地点で生活環境項目、16地点で健康項目の測定が行われている。平成23年度における調査結果のうち、生活環境項目は表4-1-20、健康項目は表4-1-21に示すとおりであり、健康項目のうち硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素については環境基準を達成していない地点がある。

表4-1-20 水質調査結果[生活環境項目]（平成23年度 その他水質調査地点）

測定項目	東海市						
	1：土留木川 (竜ノ脇交差点)	2：渡内川 (平洲橋)	3：渡内川 (西番水橋)	4：大田川 (大宮橋)	5：大田川 (木田橋)	6：大田川 (加木屋橋)	7：横須賀新川 (どんど中橋)
pH	7.4	7.5	7.5	7.5	7.7	8.1	7.6
BOD(mg/L)	14	9.6	6.2	2.8	4.4	4.0	1.1
DO(mg/L)	3.0	8.2	7.3	6.8	10	13	10
SS(mg/L)	5.5	6.3	5.3	14	6.5	4.8	5.3
大腸菌群数 (MPN/100mL)	567	29,390	1,167	975	76	202	11

測定項目	東海市	知多市					
	8：信濃川 (信濃橋)	9：信濃川 (信濃橋)	10：信濃川 (長曾橋)	11：美濃川 (記念橋)	12：美濃川 (古見橋)	13：日長川 (前田橋)	14：日長川 (東橋)
pH	7.6	7.5	8.1	9.3	8.7	8.1	8.8
BOD(mg/L)	1.1	1.3	2.0	3.2	3.5	3.3	5.0
DO(mg/L)	8.8	9.9	12	14	11	14	13
SS(mg/L)	8.3	11	9	25	2	10	4
大腸菌群数 (MPN/100mL)	16	E	E	E	E	E	E

測定項目	知多市				常滑市		
	15：鍛冶屋川 (日長橋)	16：鍛冶屋川 (旭桃台下)	17：矢田川 (向田橋)	18：矢田川 (矢田橋)	19：矢田川 (開運橋)	20：前山川 (新前山橋)	21：井口川
pH	8.0	7.9	8.0	7.9	7.7	7.4	8.9
BOD(mg/L)	3.4	2.4	4.2	5.5	4.9	3.6	22.7
DO(mg/L)	11	10	10	10	10.7	9.3	16.6
SS(mg/L)	7	17	5	10	7.0	15.5	14.0
大腸菌群数 (MPN/100mL)	E	E	E	E	21,000	16,665	66,500

備考) 表中の値は平均値を示し、「E」とは「測定を行っていない」を意味する。

出典：「平成24年版 東海市の環境概況」（東海市）

「知多市の環境 平成24年版」（知多市）

「平成24年度版 常滑市の環境概況」（常滑市）

表4-1-21(1) 水質調査結果[健康項目] (平成23年度 その他水質調査地点)

測定項目	環境基準	東海市							
		1: 土留木川 (竜ノ脇交差点)		2: 渡内川 (平洲橋)		3: 渡内川 (西番水橋)		4: 大田川 (大宮橋)	
		測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況
カドミウム	0.003mg/L以下	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○
全シアン	検出されないこと	<0.1	○	<0.1	○	<0.1	○	<0.1	○
鉛	0.01mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○
六価クロム	0.05mg/L以下	<0.01	○	<0.01	○	<0.01	○	<0.01	○
砒素	0.01mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○
総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
アルキル水銀	検出されないこと	E	—	E	—	E	—	E	—
PCB	検出されないこと	E	—	E	—	E	—	E	—
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
四塩化炭素	0.002mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,3-ジクロロプロパン	0.002mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
チウラム	0.006mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
シマジン	0.003mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
チオベンカルブ	0.02mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
ベンゼン	0.01mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
セレン	0.01mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10mg/L以下	9.7	○	19.1	×	9.5	○	8.1	○
ふっ素	0.8mg/L以下	0.16	○	0.24	○	0.20	○	0.30	○
ほう素	1mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—

備考1) 表中の測定値は、測定回数が複数回の項目は平均値を、1回の項目はその値としている。

2) 表中の「E」とは「測定を行っていない」ことを意味する。

3) 表中の「状況」とは、環境基準の達成状況を表しており、「○」は達成を、「×」は非達成を意味する。

4) 環境基準の「検出されないこと」とは、環境基準に定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。定量限界は、全シアンが0.1mg/である。

出典：「平成24年版 東海市の環境概況」(東海市)

表4-1-21(2) 水質調査結果[健康項目] (平成23年度 その他水質調査地点)

測定項目	環境基準	東海市							
		5:大田川 (木田橋)		6:大田川 (加木屋橋)		7:横須賀新川 (どんど中橋)		8:信濃川 (信濃橋)	
		測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況
カドミウム	0.003mg/L以下	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○
全シアン	検出されないこと	<0.1	○	<0.1	○	<0.1	○	<0.1	○
鉛	0.01mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○
六価クロム	0.05mg/L以下	<0.01	○	<0.01	○	<0.01	○	<0.01	○
砒素	0.01mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○
総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
アルキル水銀	検出されないこと	E	—	E	—	E	—	E	—
PCB	検出されないこと	E	—	E	—	E	—	E	—
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
四塩化炭素	0.002mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
チウラム	0.006mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
シマジン	0.003mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
チオベンカルブ	0.02mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
ベンゼン	0.01mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
セレン	0.01mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10mg/L以下	14.2	×	12.2	×	10.3	×	5.6	○
ふっ素	0.8mg/L以下	0.15	○	0.20	○	0.18	○	0.53	○
ほう素	1mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—

備考1) 表中の測定値は、測定回数が複数回の項目は平均値を、1回の項目はその値としている。

2) 表中の「E」とは「測定を行っていない」ことを意味する。

3) 表中の「状況」とは、環境基準の達成状況を表しており、「○」は達成を、「×」は非達成を意味する。

4) 環境基準の「検出されないこと」とは、環境基準に定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。定量限界は、全シアンが0.1mg/である。

出典：「平成24年版 東海市の環境概況」(東海市)

表4-1-21(3) 水質調査結果[健康項目] (平成23年度 その他水質調査地点)

測定項目	環境基準	知多市							
		9：信濃川 (信濃橋)		11：美濃川 (記念橋)		13：日長川 (前田橋)		15：鍛冶屋川 (日長橋)	
		測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況
カドミウム	0.003mg/L以下	定量下限 値未満	○	定量下限 値未満	○	定量下限 値未満	○	定量下限 値未満	○
全シアン	検出されないこと	ND	○	ND	○	ND	○	ND	○
鉛	0.01mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○
六価クロム	0.05mg/L以下	<0.01	○	<0.01	○	<0.01	○	<0.01	○
砒素	0.01mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○
総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
アルキル水銀	検出されないこと	ND	○	ND	○	ND	○	ND	○
PCB	検出されないこと	ND	○	ND	○	ND	○	ND	○
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	○	<0.0002	○	<0.0002	○	<0.0002	○
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	<0.0004	○	<0.0004	○	<0.0004	○	<0.0004	○
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	○	<0.004	○	<0.004	○	<0.004	○
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	<0.0006	○	<0.0006	○	<0.0006	○	<0.0006	○
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	<0.0002	○	<0.0002	○	<0.0002	○	<0.0002	○
チウラム	0.006mg/L以下	<0.0006	○	<0.0006	○	<0.0006	○	<0.0006	○
シマジン	0.003mg/L以下	<0.0003	○	<0.0003	○	<0.0003	○	<0.0003	○
チオベンカルブ	0.02mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○
セレン	0.01mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10mg/L以下	1.2	○	0.4	○	0.7	○	0.7	○
ふっ素	0.8mg/L以下	0.3	○	0.2	○	0.2	○	0.2	○
ほう素	1mg/L以下	0.7	○	0.3	○	0.3	○	0.2	○
1,4-ジキシサン	0.05mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○

備考1) 表中の測定値は、測定回数が複数回の項目は平均値を、1回の項目はその値としている。

2) 表中の「ND」とは「検出せず」を、「E」とは「測定を行っていない」を意味する。

3) 表中の「状況」とは、環境基準の達成状況を表しており、「○」は達成を、「×」は非達成を意味する。

4) 環境基準の「検出されないこと」とは、環境基準に定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。定量限界は、全シアンが0.1mg/L、アルキル水銀及びPCBが0.0005mg/Lである。

出典：「知多市の環境 平成24年版」(知多市)

表4-1-21(4) 水質調査結果[健康項目] (平成23年度 その他水質調査地点)

測定項目	環境基準	知多市		常滑市					
		17: 矢田川 (向田橋)		19: 矢田川 (開運橋)		20: 前山川 (新前山橋)		21: 井口川	
		測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況	測定値 (mg/L)	状況
カドミウム	0.003mg/L以下	定量下限 値未満	○	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○
全シアン	検出されないこと	ND	○	<0.1	○	<0.1	○	<0.1	○
鉛	0.01mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○
六価クロム	0.05mg/L以下	<0.01	○	<0.01	○	<0.01	○	<0.01	○
砒素	0.01mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○
総水銀	0.0005mg/L以下	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
アルキル水銀	検出されないこと	ND	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
PCB	検出されないこと	ND	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	○	<0.0002	○	<0.0002	○	<0.0002	○
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	<0.0004	○	<0.0004	○	<0.0004	○	<0.0004	○
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	○	<0.004	○	<0.004	○	<0.004	○
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	<0.0006	○	<0.0006	○	<0.0006	○	<0.0006	○
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○	<0.0005	○
1,3-ジクロロプロパン	0.002mg/L以下	<0.0002	○	<0.0002	○	<0.0002	○	<0.0002	○
チウラム	0.006mg/L以下	<0.0006	○	<0.0006	○	<0.0006	○	<0.0006	○
シマジン	0.003mg/L以下	<0.0003	○	<0.0003	○	<0.0003	○	<0.0003	○
チオベンカルブ	0.02mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○	<0.001	○
セレン	0.01mg/L以下	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○	<0.002	○
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10mg/L以下	2.2	○	1.6	○	0.8	○	1.5	○
ふっ素	0.8mg/L以下	0.1	○	0.2	○	0.1	○	0.2	○
ほう素	1mg/L以下	<0.1	○	<0.1	○	0.2	○	<0.1	○
1,4-ジキサン	0.05mg/L以下	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○	<0.005	○

備考1) 表中の測定値は、測定回数が複数回の項目は平均値を、1回の項目はその値としている。

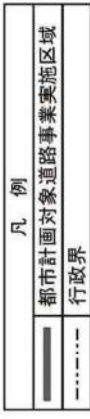
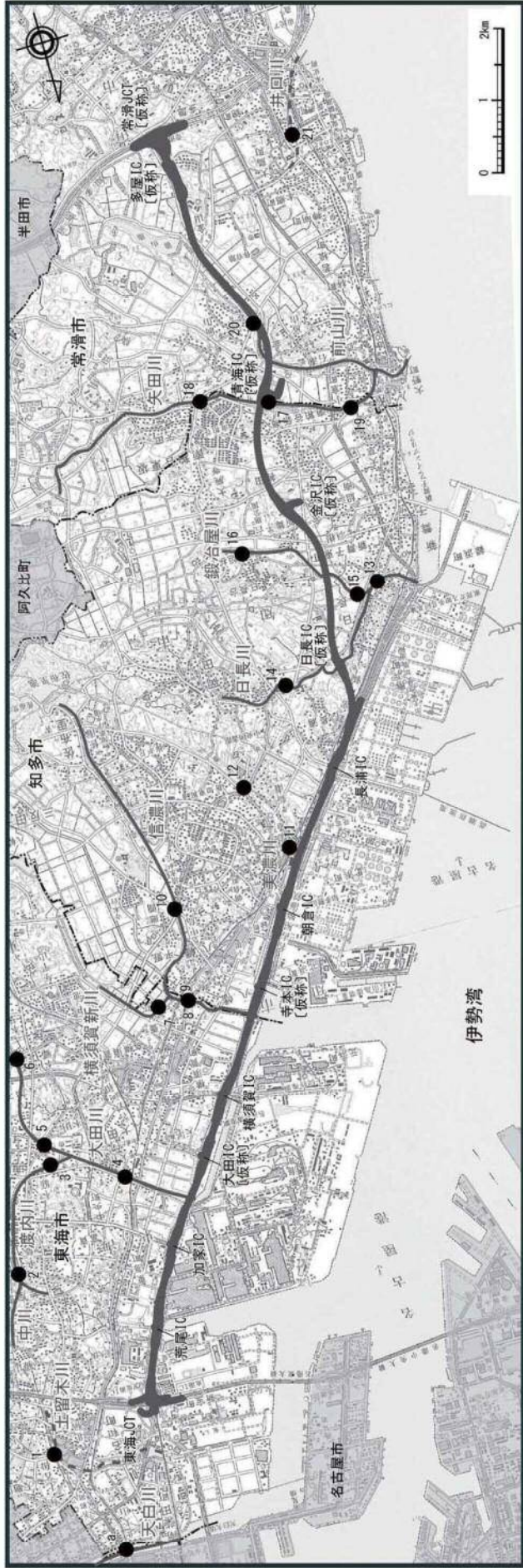
2) 表中の「ND」とは「検出せず」を、「E」とは「測定を行っていない」を意味する。

3) 表中の「状況」とは、環境基準の達成状況を表しており、「○」は達成を、「×」は非達成を意味する。

4) 環境基準の「検出されないこと」とは、環境基準に定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。定量限界は、全シアンが0.1mg/L、アルキル水銀及びPCBが0.0005mg/Lである。

出典：「知多市の環境 平成24年版」(知多市)

「平成24年度版 常滑市の環境概況」(常滑市)



凡例

記号	番号	名称	記号	番号	名称	
環境基準 地点・ 水質調査 地点	a	千鳥橋	●	11	記念橋	
	1	竜ノ脇交差点		12	古見橋	
	2	平洲橋		13	前田橋	
	3	西番水橋		14	東橋	
	4	大宮橋		15	日長橋	
	5	木田橋		16	旭祿台下	
	6	加木屋橋		17	向田橋	
	7	どんど中橋		18	矢田橋	
	8	信濃橋(東海市)		19	開運橋	
	9	信濃橋(知多市)		20	新前山橋	
水質調査 地点	10	長曾橋	●	21	井口川	
						二級河川
						準用河川

出典：「公共用水域の水質調査結果」（愛知県ウェブサイト）  
 「平成24年版 東海市の環境概況」（東海市）  
 「知多市の環境 平成24年版」（知多市）  
 「平成24年度版 常滑市の環境概況」（常滑市）

図4-1-17 水質調査地点の位置

(2) ダイオキシン類（水質）の状況

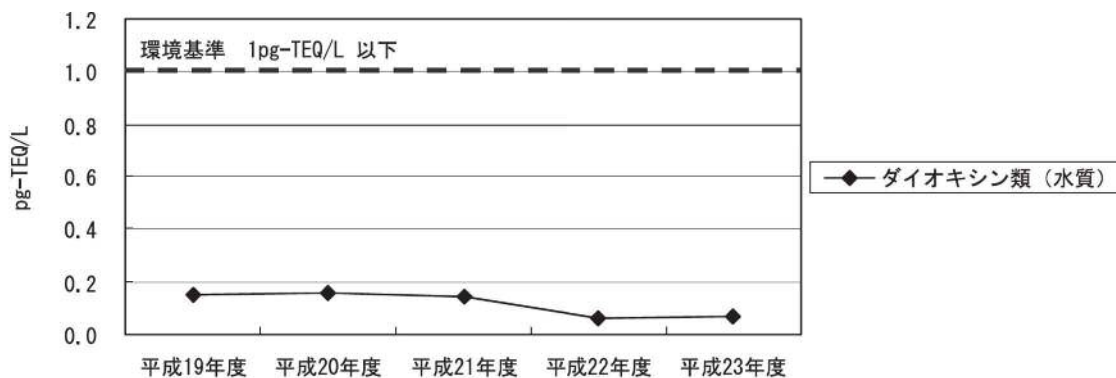
対象区域においては、天白川の千鳥橋（図4-1-17）においてダイオキシン類（水質）の調査が実施されている。平成23年度の調査結果は表4-1-22に、平成19年度以降の年間平均値の経年変化は図4-1-18に示すとおりである。

平成23年度の年間平均値は0.071pg-TEQ/Lで環境基準を達成しており、平成19年度以降の年間平均値についても、環境基準を下回った値で推移している。

表4-1-22 ダイオキシン類（水質）の調査結果（天白川：千鳥橋（平成23年度））

項目	調査結果	環境基準	環境基準達成状況	調査年月日
ダイオキシン類（水質）	0.071pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L 以下 （年間平均値）	○（達成）	H23. 8. 5 H24. 1. 31

出典：「平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）



出典：「平成19年度～平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）

図4-1-18 ダイオキシン類（水質）の経年変化（年間平均値）



3) 水底の底質の状況

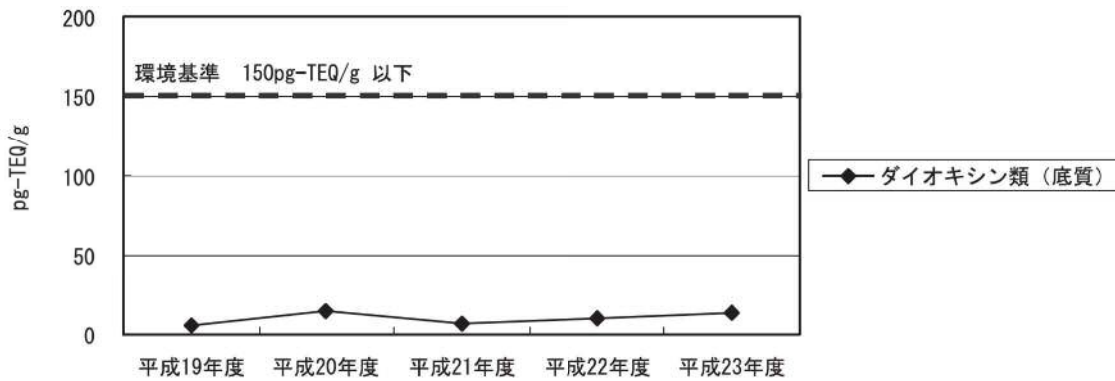
対象区域においては、天白川の千鳥橋（図4-1-17）においてダイオキシン類（底質）の調査が実施されている。平成23年度の調査結果は表4-1-23に、平成19年度以降の年間平均値の経年変化は図4-1-19に示すとおりである。

平成23年度の年間平均値は14pg-TEQ/gで環境基準を達成しており、平成19年度以降の年間平均値についても、環境基準を下回った値で推移している。

表4-1-23 ダイオキシン類（底質）の調査結果（天白川:千鳥橋（平成23年度））

項目	調査結果	環境基準	環境基準達成状況	調査年月日
ダイオキシン類（底質）	14pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g 以下 (年間平均値)	○（達成）	H23. 8. 5

出典：「平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）



出典：「平成19年度～平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）

図4-1-19 ダイオキシン類（底質）の経年変化（年間平均値）

4) その他の水に係る環境の状況（地下水質）

(1) 地下水質

対象区域における地下水の水質調査地点は表4-1-24及び図4-1-20に、平成19年度以降の測定結果は表4-1-25に示すとおりである。各測定地点における測定結果は、測定した全ての項目で環境基準を達成している。

表4-1-24 地下水質の調査地点一覧

番号	市名	調査地点	用途	種別	年度					備考
					H19	H20	H21	H22	H23	
1	東海市	加木屋町	工業用水	深井戸	○					
2	知多市	大興寺	工業用水	浅井戸	○					
3	知多市	日長	工業用水	深井戸	○					
4	東海市	加木屋町	工業用水	深井戸		○				1とは別地点
5	東海市	名和町	工業用水	深井戸		○				
6	常滑市	矢田	その他	不圧			○			
7	東海市	富木島町	その他	不明				○		
8	東海市	高横須賀町	生活用水	不明				○		
9	東海市	大田町	一般飲用	不明				○	○	
10	東海市	加木屋町	生活用水	不明					○	
11	知多市	新知	その他	不明					○	
12	常滑市	権田口	工業用水	不明					○	
13	常滑市	大野町	その他	不明					○	

出典：「地下水の水質調査結果」（愛知県ウェブサイト）

表4-1-25(1) 地下水の水質測定結果

測定項目	環境基準	東海市		知多市		知多市		東海市	
		1：加木屋町		2：大興寺		3：日長		4：加木屋町	
		測定結果	状況	測定結果	状況	測定結果	状況	測定結果	状況
カドミウム	0.003mg/L以下	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○
全シアン	検出されないこと	< 0.1	○	< 0.1	○	< 0.1	○	< 0.1	○
鉛	0.01mg/L以下	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○
六価クロム	0.05mg/L以下	< 0.01	○	< 0.01	○	< 0.01	○	< 0.01	○
砒素	0.01mg/L以下	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○
総水銀	0.0005mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
アルキル水銀	検出されないこと	E	—	E	—	E	—	E	—
PCB	検出されないこと	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
四塩化炭素	0.002mg/L以下	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○
塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	< 0.0004	○	< 0.0004	○	< 0.0004	○	< 0.0004	○
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	< 0.004	○	< 0.004	○	< 0.004	○	< 0.004	○
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○
チラム	0.006mg/L以下	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○
シマジン	0.003mg/L以下	< 0.0003	○	< 0.0003	○	< 0.0003	○	< 0.0003	○
チオベンカルブ	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
ベンゼン	0.01mg/L以下	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○
セレン	0.01mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	< 0.10	○	0.62	○	0.52	○	2.0	○
ふっ素	0.8mg/L以下	0.19	○	0.11	○	0.21	○	< 0.08	○
ほう素	1mg/L以下	0.10	○	< 0.02	○	0.05	○	< 0.02	○
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	E	—	E	—	E	—	E	—
pH	—	7.1	—	6.4	—	5.9	—	6.1	—
測定年月日		H19.5.29		H19.5.29		H19.7.17		H20.7.1	

備考 1) 表中の「状況」とは、環境基準の達成状況を表しており、「○」は達成を、「×」は非達成を意味する。

2) 表中の値の単位はmg/L (pH除く)。「E」とは「測定を行っていないこと」を意味する。

3) 環境基準の「検出されないこと」とは、環境基準に定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。定量限界は、全シアンが0.1mg/L、アルキル水銀及びPCBが0.0005mg/Lである。

出典：「地下水の水質調査結果」（愛知県ウェブサイト）

表 4-1-25(2) 地下水の水質測定結果

測定項目	環境基準	東海市		常滑市		東海市		東海市	
		5：名和町		6：矢田		7：富木島町		10：加木屋町	
		測定結果	状況	測定結果	状況	測定結果	状況	測定結果	状況
カドミウム	0.003mg/L以下	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○
全シアン	検出されないこと	< 0.1	○	< 0.1	○	< 0.1	○	< 0.1	○
鉛	0.01mg/L以下	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○
六価クロム	0.05mg/L以下	< 0.01	○	< 0.01	○	< 0.01	○	< 0.01	○
砒素	0.01mg/L以下	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○	0.005	○
総水銀	0.0005mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
アルキル水銀	検出されないこと	E	—	E	—	E	—	E	—
PCB	検出されないこと	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
四塩化炭素	0.002mg/L以下	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○
塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下	E	—	E	—	< 0.0002	○	< 0.0002	○
1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	< 0.0004	○	< 0.0004	○	< 0.0004	○	< 0.0004	○
1, 1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	< 0.004	○	< 0.004	○	< 0.004	○	< 0.004	○
1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○	0.0009	○
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
1, 3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○
チカラム	0.006mg/L以下	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○
シマジン	0.003mg/L以下	< 0.0003	○	< 0.0003	○	< 0.0003	○	< 0.0003	○
チオベンカルブ	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
ベンゼン	0.01mg/L以下	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○
セレン	0.01mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	< 0.10	○	0.42	○	< 0.10	○	0.48	○
ふっ素	0.8mg/L以下	0.16	○	< 0.08	○	0.14	○	< 0.08	○
ほう素	1mg/L以下	0.06	○	< 0.02	○	< 0.02	○	< 0.02	○
1, 4-ジオキサン	0.05mg/L以下	E	—	E	—	< 0.005	○	< 0.005	○
pH	—	6.7	—	6.3	—	6.7	—	7.4	—
	測定年月日	H20. 6. 3		H21. 8. 4		H22. 8. 31		H23. 8. 9	

測定項目	環境基準	知多市		常滑市		常滑市	
		11：新知		12：椎田口		13：大野町	
		測定結果	状況	測定結果	状況	測定結果	状況
カドミウム	0.003mg/L以下	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○
全シアン	検出されないこと	< 0.1	○	< 0.1	○	< 0.1	○
鉛	0.01mg/L以下	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○
六価クロム	0.05mg/L以下	< 0.01	○	< 0.01	○	< 0.01	○
砒素	0.01mg/L以下	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○
総水銀	0.0005mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
アルキル水銀	検出されないこと	E	—	E	—	E	—
PCB	検出されないこと	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
四塩化炭素	0.002mg/L以下	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○
塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○
1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	< 0.0004	○	< 0.0004	○	< 0.0004	○
1, 1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	< 0.004	○	< 0.004	○	< 0.004	○
1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	< 0.0005	○	< 0.0005	○	< 0.0005	○
1, 3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下	< 0.0002	○	< 0.0002	○	< 0.0002	○
チカラム	0.006mg/L以下	< 0.0006	○	< 0.0006	○	< 0.0006	○
シマジン	0.003mg/L以下	< 0.0003	○	< 0.0003	○	< 0.0003	○
チオベンカルブ	0.02mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
ベンゼン	0.01mg/L以下	< 0.001	○	< 0.001	○	< 0.001	○
セレン	0.01mg/L以下	< 0.002	○	< 0.002	○	< 0.002	○
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	< 0.10	○	0.10	○	< 0.10	○
ふっ素	0.8mg/L以下	0.08	○	0.61	○	< 0.08	○
ほう素	1mg/L以下	< 0.02	○	0.17	○	< 0.02	○
1, 4-ジオキサン	0.05mg/L以下	< 0.005	○	< 0.005	○	< 0.005	○
pH	—	6.9	—	8.3	—	7.0	—
	測定年月日	H23. 6. 7		H23. 6. 14		H23. 9. 27	

備考1) 表中の「状況」とは、環境基準の達成状況を表しており、「○」は達成を、「×」は非達成を意味する。  
 2) 表中の値の単位はmg/L。(pH除く)、「E」とは「測定を行っていないこと」を意味する。  
 3) 環境基準の「検出されないこと」とは、環境基準に定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。定量限界は、全シアンが0.1mg/L、アルキル水銀及びPCBが0.0005mg/Lである。

出典：「地下水の水質調査結果」(愛知県ウェブサイト)

表 4-1-25(3) 地下水の水質測定結果

測定項目	環境基準	東海市		東海市		東海市	
		8：高横須賀町		9：大田町		9：大田町	
		測定結果	状況	測定結果	状況	測定結果	状況
砒素	0.01mg/L以下	< 0.005	○	E	—	E	—
ベンゼン	0.01mg/L以下	E	—	< 0.001	○	< 0.001	○
ふっ素	0.8mg/L以下	0.36	○	E	—	E	—
pH	—	6.7	—	6.0	—	6.2	—
測定年月日		H22.5.25		H22.6.1		H23.6.7	

備考1) 表中の「状況」とは、環境基準の達成状況を表しており、「○」は達成を、「×」は非達成を意味する。

2) 表中の値の単位は mg/L (pH 除く)。「E」とは「測定を行っていないこと」を意味する。

出典：「地下水の水質調査結果」(愛知県ウェブサイト)

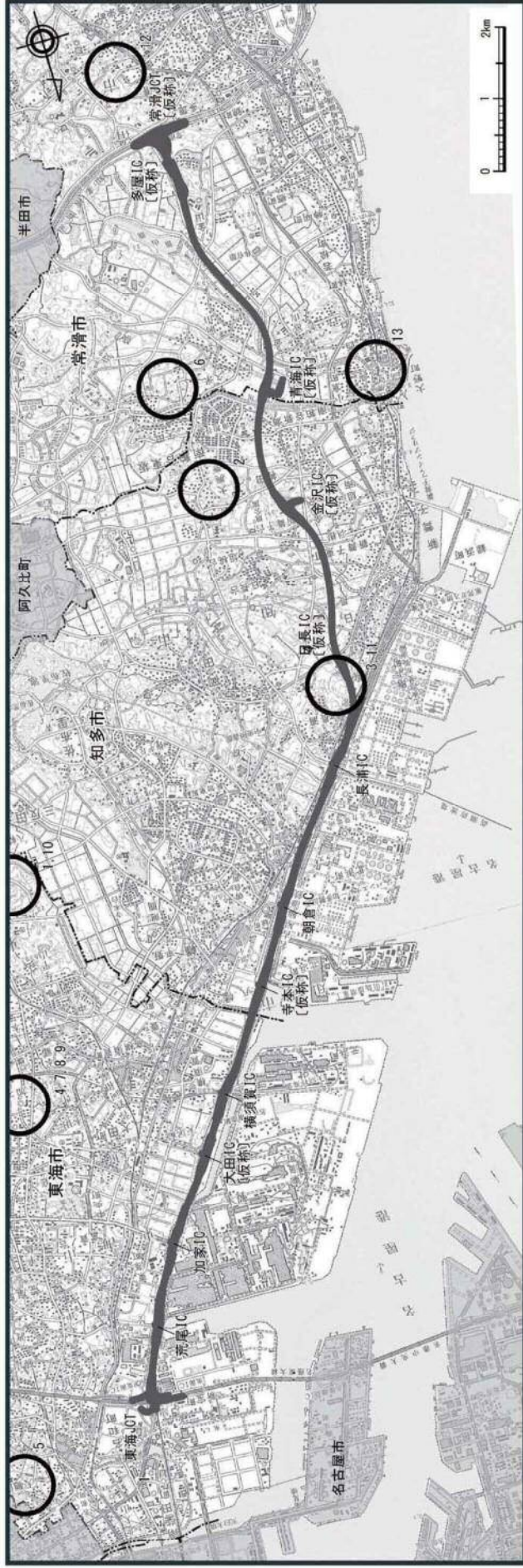
## (2) ダイオキシン類 (地下水)

対象区域におけるダイオキシン類 (地下水) の水質調査地点は図4-1-20に、平成19年度以降の測定結果は表4-1-26に示すとおりである。各測定地点における測定結果は、いずれも環境基準を達成している。

表4-1-26 ダイオキシン類 (地下水) の調査結果

調査地点	地点番号	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準	環境基準達成状況	調査年月日
知多市日長	3	0.057	1pg-TEQ/L以下 (年間平均値)	○ (達成)	H19.7.17
知多市新知	11	0.062		○ (達成)	H23.6.7

出典：「平成19年度～平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」(愛知県)



記号	番号	名称
○	1	加木屋町 (H19)
	2	大興寺 (H19)
	3	日長 (H19)
	4	加木屋町 (H20)
	5	名和町 (H20)
	6	矢田 (H21)
	7	富木島町 (H22)
	8	高横須賀町 (H22)
	9	大田町 (H22, H23)
	10	加木屋町 (H23)
	11	新知 (H23)
	12	権田口 (H23)
	13	大野町 (H23)

備考) 県内の全体的な地下水の水質の概況を把握するため、概況調査としてメッシュ調査と定点調査が行われている。調査区域の概況調査地点はいずれもメッシュ調査であり、毎年新たな調査井戸を選定し、調査が行われている。また、調査結果等から汚染の継続的な監視をするために定期モニタリング調査が行われている。

出典: 「愛知県地下水調査地点図 (平成19年度～平成23年度)」(愛知県)  
 「平成23年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」(愛知県)

凡例	
———	都市計画対象道路事業実施区域
- - - - -	行政区界

図4-1-20 地下水の水質調査地点の概略位置